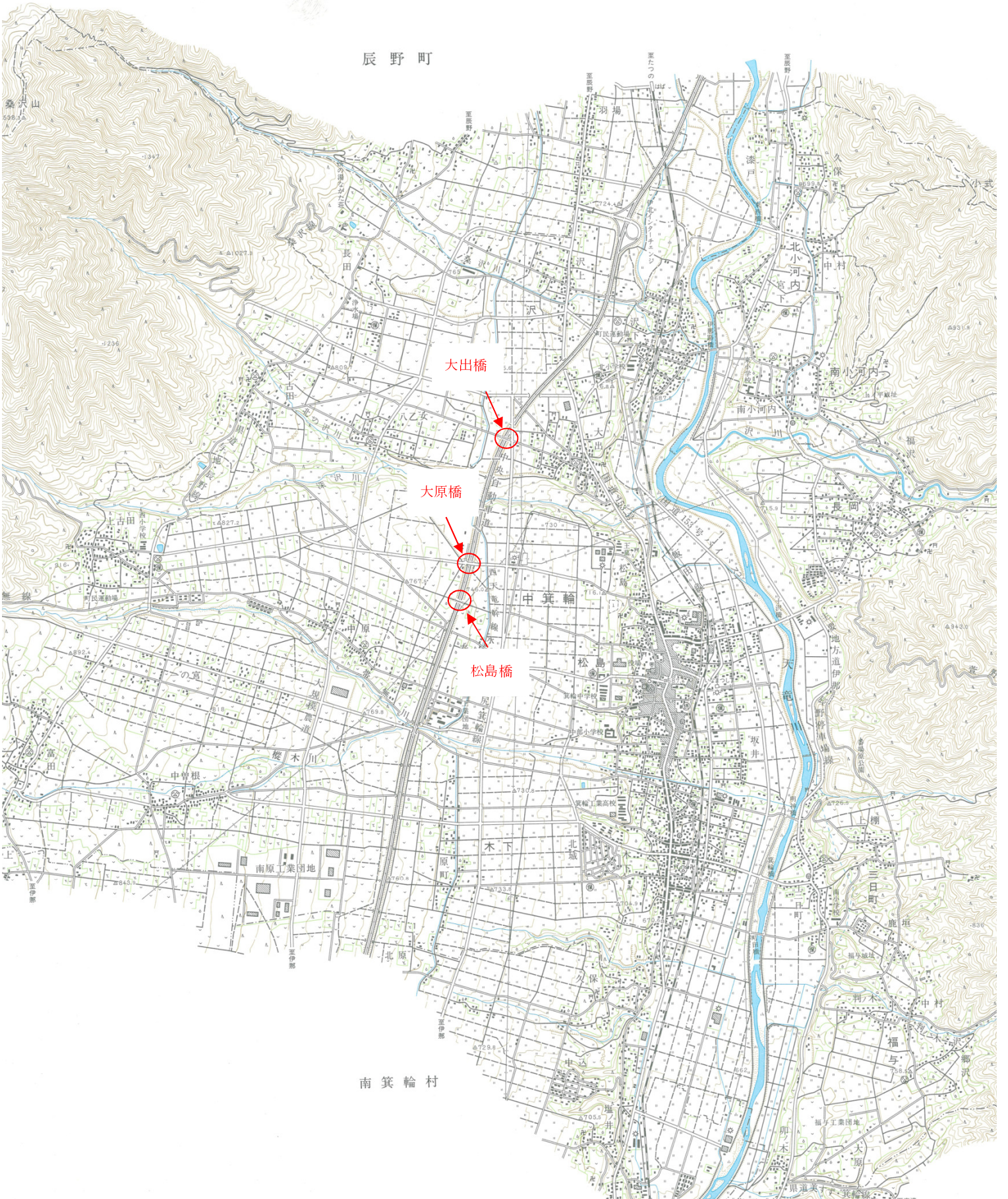
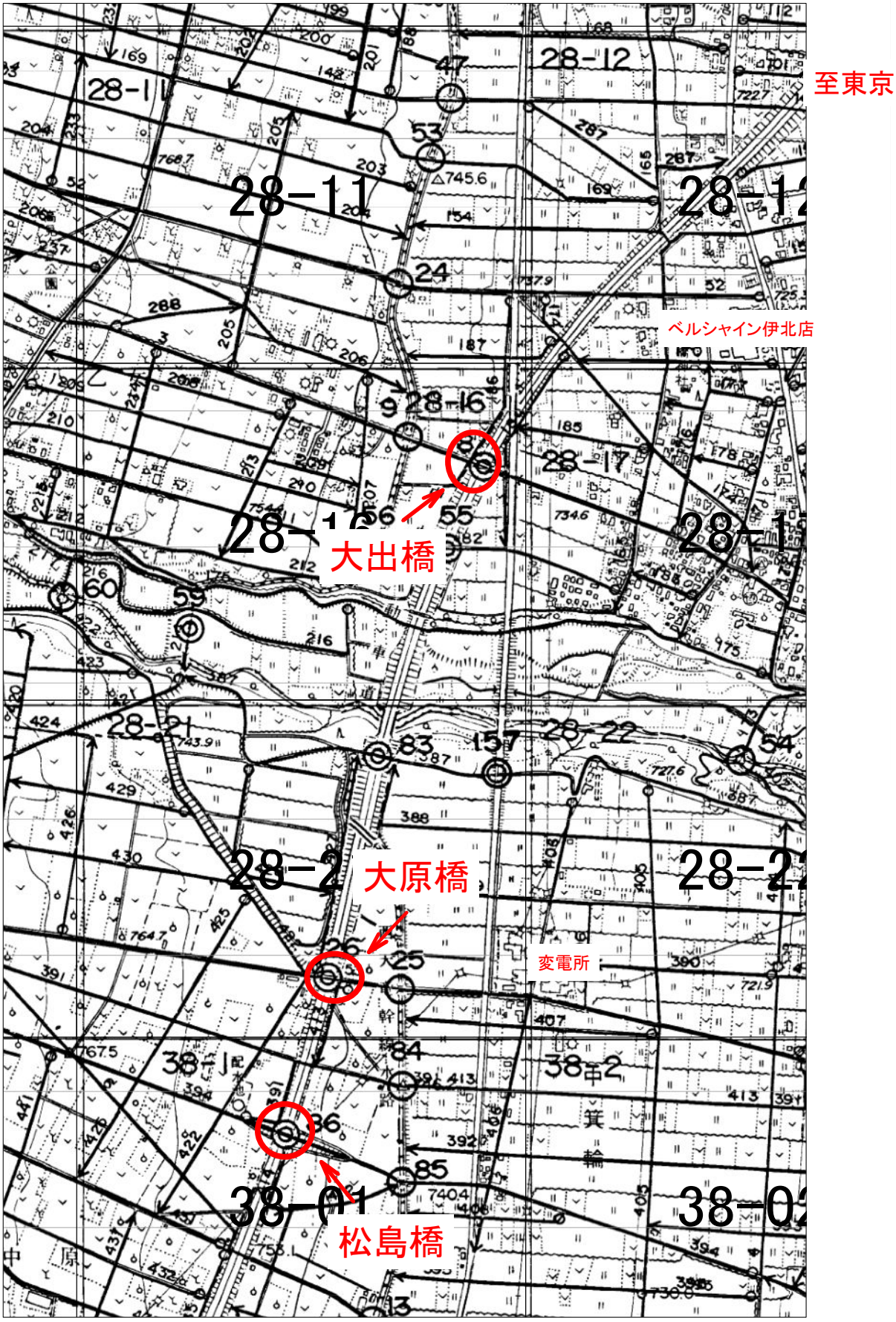
位 置 図



位置図



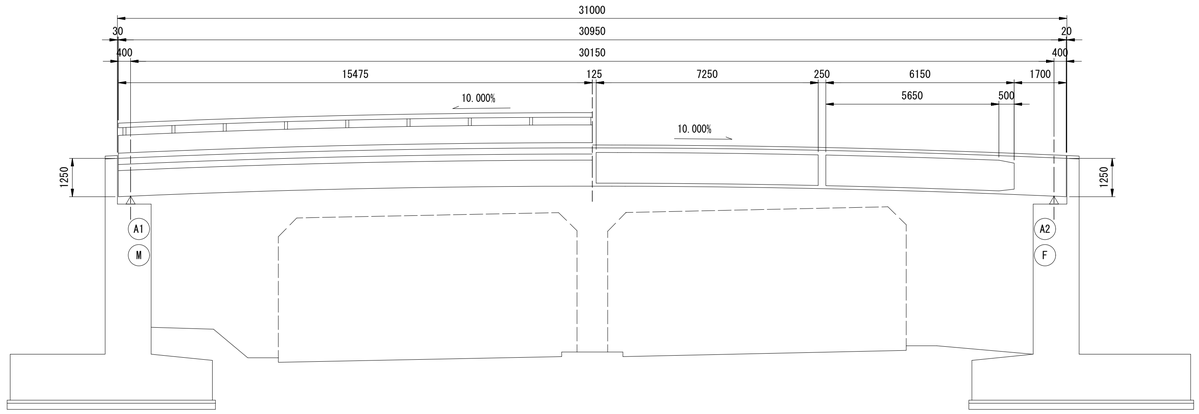
1:10000

松島橋 上部工構造一般図

S=1:100

側 面 図

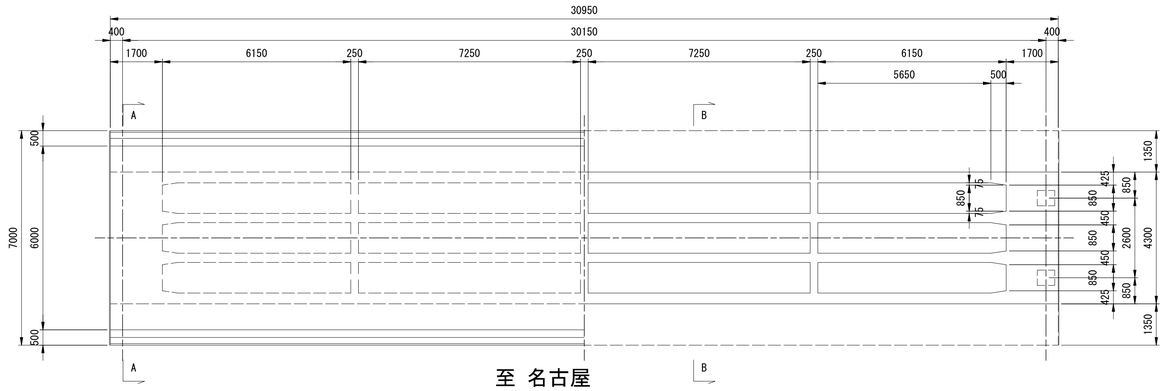
S=1:100



平 面 図

S=1:100

至 東京



至 名古屋

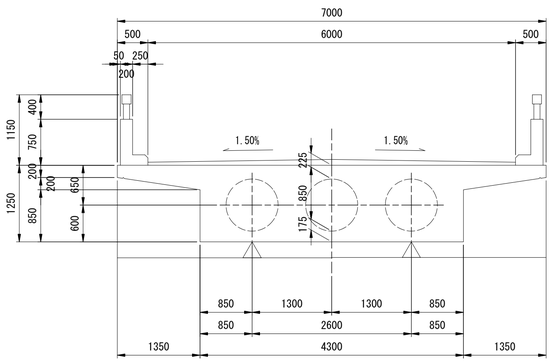
設計条件

型　　式	単純PC中空床版橋
橋　　長	31.000m
桁　　長	30.950m
支　　間	30.150m
有 効 幅 員	6.000m
活 荷 重	TL-20
斜　　角	90° 00′
縦 断 勾 配	10.000%放物線勾配
コンクリート強度	350kg/cm ²
導　入　時	300kg/cm ²
圧縮応力度	115kg/cm ²
引張応力度	13.5kg/cm ²
舗 装 厚	50～95mm
P C 鋼 材	91φ45.2
引 張 強 度	170kg/mm ²
設計荷重時	102kg/mm ²
導　　入	123kg/mm ²
鉄　　筋 (SD30)	1800kg/cm ²

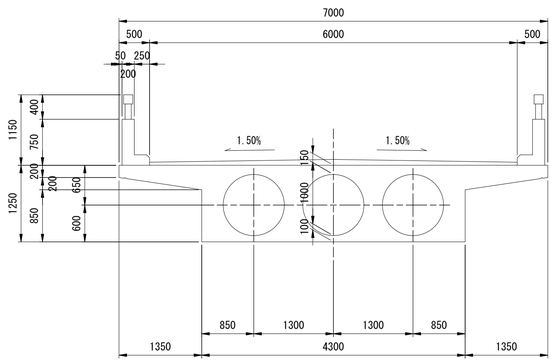
断 面 図

S=1:50

A － A



B － B



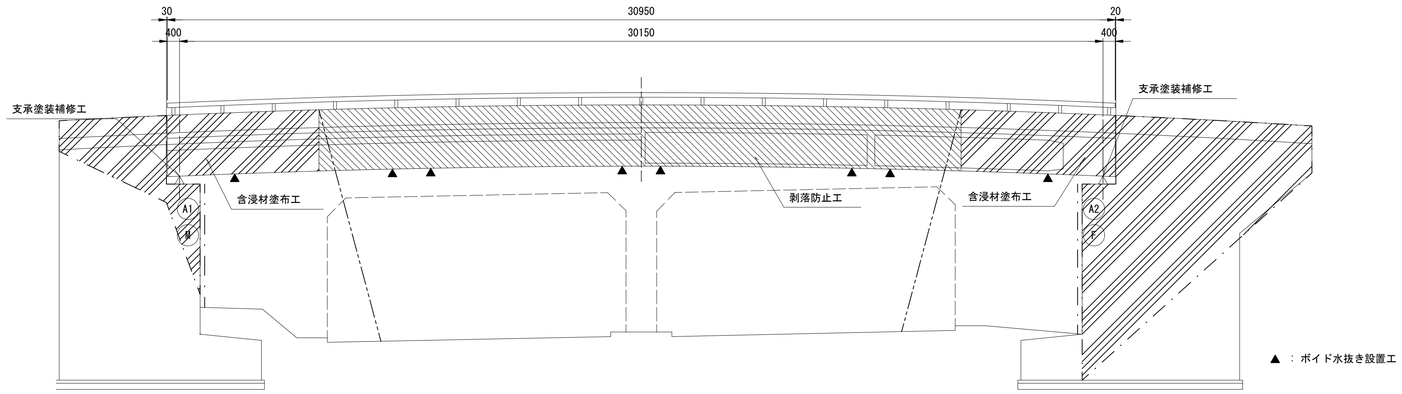
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 上部工構造一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	1/7
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	筑　輪　町		

松島橋 補修一般図

S=1:100

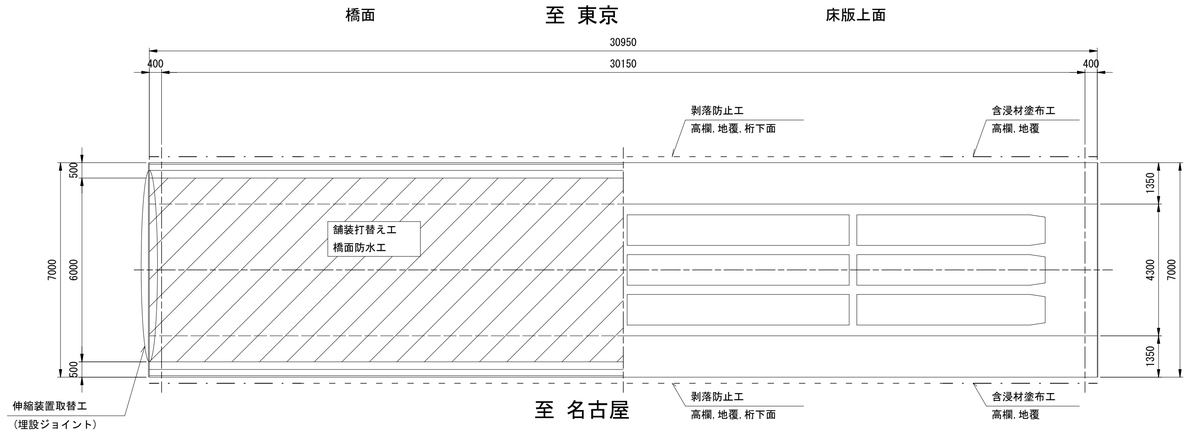
側 面 図

S=1:100



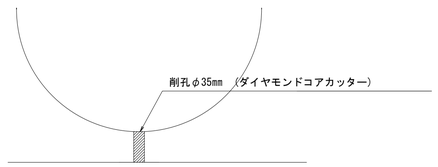
平 面 図

S=1:100



ボイド水抜き詳細図

S=1:10



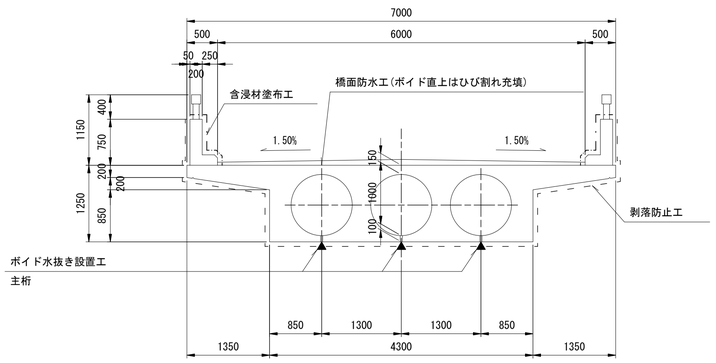
水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること

ボイド水抜き設置工

名 称	単位	数 量	備 考
ボイド水抜き孔	箇所	24	φ35mm

断 面 図

S=1:50



補修工一覧

部位			損傷内容	補修項目
上部工	主桁		剥離・鉄筋露出	断面修復工(無収縮性ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ, 亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り)
				ボイド水抜き設置工
				剥落防止工
		中空ボイド上	ひびわれ	可とう性エポキシ樹脂充填
	支承部	A1, A2橋台	鋼材腐食	塗装補修工
	高欄, 地覆	A1-A2径間		含浸材塗布工
橋面	舗装		ひびわれ	橋面防水工(ボイド直上はひび割れ充填), 舗装打替え工
	伸縮			伸縮装置取替え工, 撤去工
下部工	橋台	A1, A2橋台	ひびわれ 剥離・鉄筋露出	断面修復工(無収縮性ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ, 亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り) 可とう性エポキシ樹脂充填 含浸材塗布工

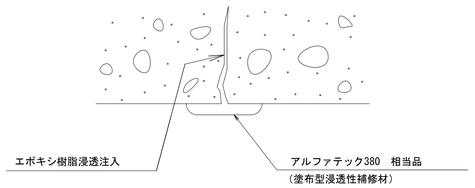
注) 1.施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 補修一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	2/7
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　輪　町		

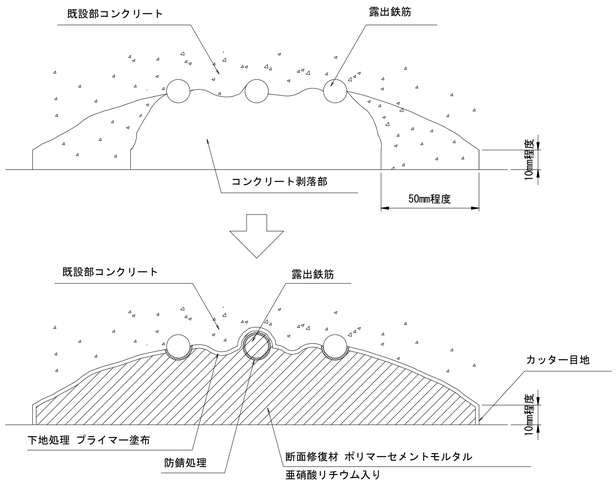
松島橋 補修図(その5)

ひびわれ注入工詳細図

(ひびわれ幅0.2mm以上～0.5mm未満)

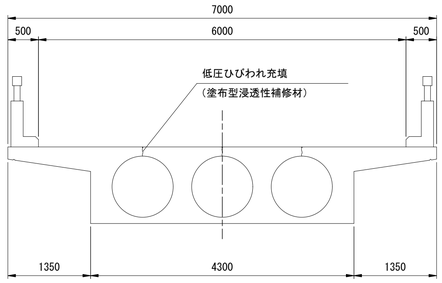


断面修復工要領図

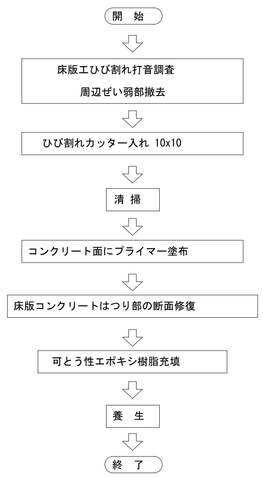


今 回 施 工 箇 所

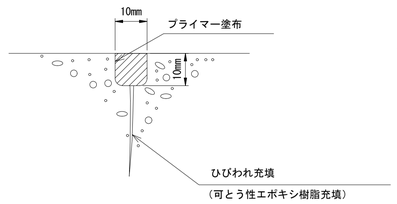
ボイド上部ひびわれ補修要領図



中空ボイド上ひびわれ補修要領



中空ボイド上ひびわれ補修詳細図



延長数量

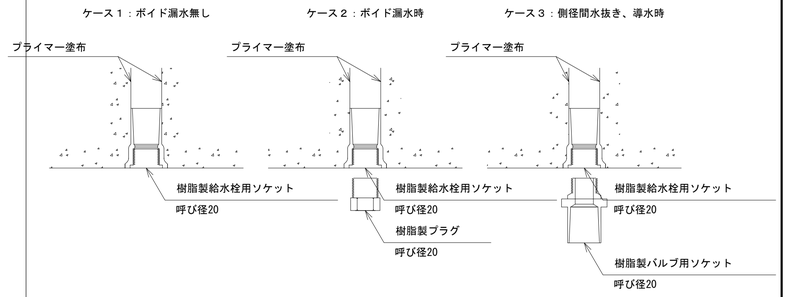
ひびわれ 長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考
30950	3	92.9	X0.5

注) コンクリート舗装撤去時に決定する。

断面修復工一覧表

番号	損傷の種類	損傷範囲 縦(mm)	×	横(mm)	箇所	面積 (m2)	備考
1	剥離・鉄筋露出	190	×	320	1	0.061	東京側壁高欄内面
2	剥離・鉄筋露出	220	×	360	1	0.080	名古屋側壁高欄内面
3	剥離・鉄筋露出	250	×	190	1	0.048	名古屋側壁高欄内面
4	剥離・鉄筋露出	250	×	210	1	0.053	名古屋側壁高欄内面
5	異物混入	200	×	220	1	0.044	東京側側面
6	異物混入	200	×	240	1	0.048	東京側側面
7	異物混入	200	×	210	1	0.042	東京側側面
8	異物混入	210	×	580	1	0.122	下面
9	剥離・鉄筋露出	330	×	270	1	0.090	名古屋側側面
10	剥離・鉄筋露出	320	×	200	1	0.064	A1橋台・A2面
合計						0.652	

ボイド水抜きパイプ参考図



※1 水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること。

※2 パイプ接合部にはシールテープを施工する事。

ひびわれ注入工一覧表

○番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考	
L1	0.400	×	180	1	0.18	A1橋台東京側側面	a
L2	0.300	×	480	1	0.48	東京側側面	a
L3	0.300	×	430	1	0.43	東京側側面	a
L4	0.300	×	210	1	0.21	東京側側面	a
L5	0.200	×	490	1	0.49	東京側側面	a
L6	0.200	×	250	1	0.25	東京側側面	b
L7	0.200	×	200	1	0.20	東京側側面	b
L8	0.200	×	630	1	0.63	下面	c
L9	0.200	×	710	1	0.71	下面	c
L10	0.300	×	1570	1	1.57	下面	c
L11	0.300	×	980	1	0.98	下面	d
L12	0.300	×	330	1	0.33	下面	d
L13	0.300	×	1040	1	1.04	下面	d
L14	0.200	×	1060	1	1.06	下面	d
L15	0.200	×	820	1	0.82	下面	d
L16	0.300	×	3680	1	3.68	下面	e
L17	0.300	×	540	1	0.54	下面	e
L18	0.300	×	1040	1	1.04	下面	e
L19	0.300	×	550	1	0.55	下面	e
L20	0.300	×	2580	1	2.58	下面	e
L21	0.300	×	380	1	0.38	下面	e

○番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考	
L22	0.200	×	220	1	0.22	A2橋台名古屋側側面	f
L23	0.300	×	210	1	0.21	A2橋台名古屋側側面	f
L24	0.400	×	300	1	0.30	A2橋台名古屋側側面	f
L25	0.200	×	250	1	0.25	A2橋台名古屋側側面	f
L26	0.200	×	540	1	0.54	A2橋台名古屋側側面	f
L27	0.200	×	290	1	0.29	A2橋台名古屋側側面	f
L28	0.300	×	220	1	0.22	名古屋側側面	g
L29	0.300	×	320	1	0.32	名古屋側側面	g
L30	0.300	×	410	1	0.41	名古屋側側面	g
L31	0.200	×	720	1	0.72	名古屋側側面	g
L32	0.200	×	1300	1	1.30	名古屋側側面	h
L33	0.300	×	660	1	0.66	A2橋台・A1面	i
L34	0.300	×	340	1	0.34	A2橋台・A1面	i
L35	0.300	×	1420	1	1.42	A2橋台・A1面	i
L36	0.300	×	70	1	0.07	A2橋台・A1面	i
L37	0.300	×	70	1	0.07	A2橋台・A1面	i
L38	0.300	×	170	1	0.17	A2橋台・A1面	i
L39	0.300	×	50	1	0.05	A2橋台・A1面	i
L40	0.300	×	160	1	0.16	A2橋台・A1面	i
L41	0.300	×	740	1	0.74	A2橋台・A1面	i
L42	0.300	×	340	1	0.34	A2橋台・A1面	i
合計					26.95		

ひびわれ充填工一覧表

□番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ (m)	備考	
L1	1.000	×	1350	1	1.35	下面	j
L2	1.000	×	4260	1	4.26	下面	j
L3	0.600	×	590	1	0.59	下面	k
L4	0.600	×	790	1	0.79	A2橋台・A1面	l
L5	0.600	×	1210	1	1.21	A2橋台・A1面	l
L6	0.700	×	390	1	0.39	A2橋台・A1面	l
L7	0.600	×	90	1	0.09	A2橋台・A1面	l
合計					8.68		

注) 1.画像判定のため設計数量が変わる可能性があるので
現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

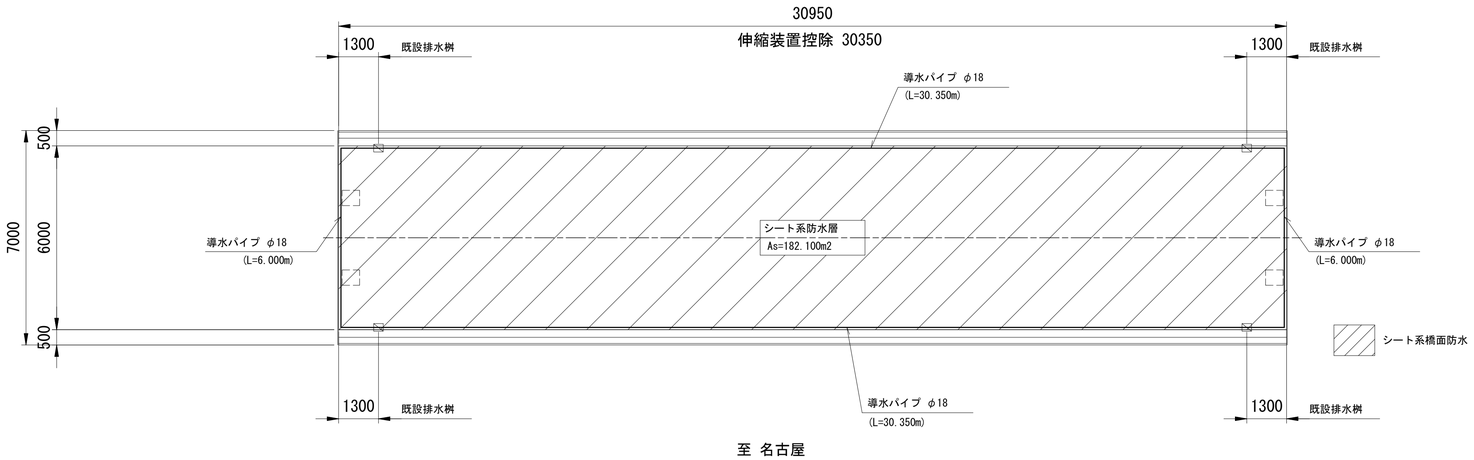
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 補修図(その5)		
縮　　尺	-	図面番号	3/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	筑　　輪　　町		

松島橋 橋面防水詳細図（その1）

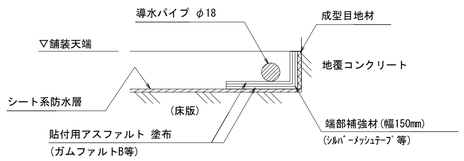
S=1:100

平 面 図

S=1:100



端部処理構造図

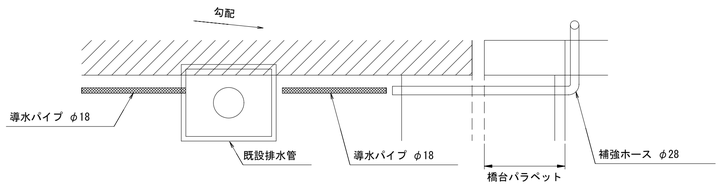


橋面防水材料表

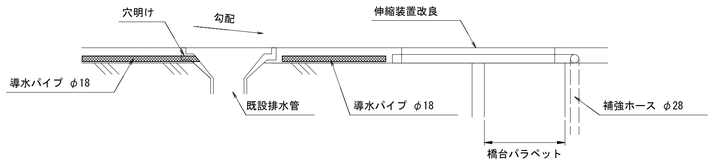
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
橋面防水	シート系防水層	m2	182.1	
導水パイプ ステンレス製	φ18	m	72.7	
成型目地材	幅30mm	m	72.7	
端部補強材	幅150mm	m	72.7	
補強ホース	φ28（内径φ18）	本	4	

排水桝詳細図

平面図



断面図



舗装打ち換え工

名　称	仕様・寸法	単位	数　量	備　考
撤去工	コンクリート舗装	m3	13.0	t=70mm
復旧工	アスファルト舗装	m2	185.7	t=70mm

※1)対象橋梁の舗装厚については、70mm(平均)と仮定するが、
施工時に既設の舗装厚を確認し、現状に応じた舗装厚を再検討すること。

※2)舗装については、土工部との摺付けを行うこと。

※3)コンクリート舗装の撤去については、交差する中央道への破片の
落下の恐れがあるため、ブレーカーはつりではなく、小片に切断
して撤去を行うこと。

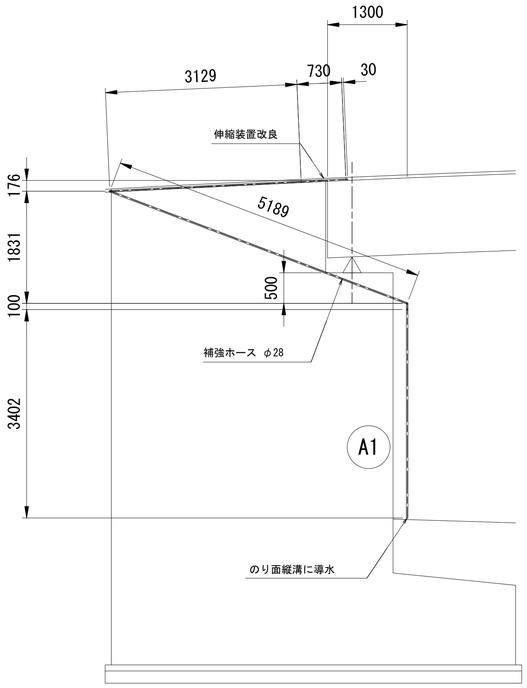
注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2.路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

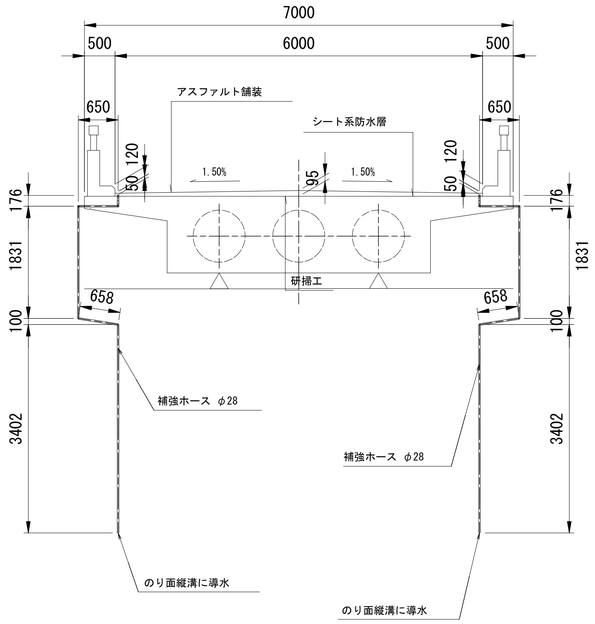
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 橋面防水詳細図(その1)		
縮　　尺	1:100	図面番号	4/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

松島橋 橋面防水詳細図（その2）

S=1:50

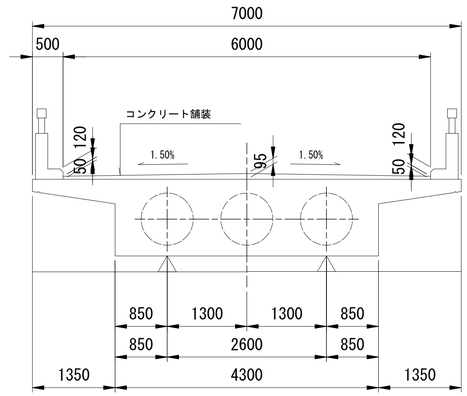
補修図
A1橋台側



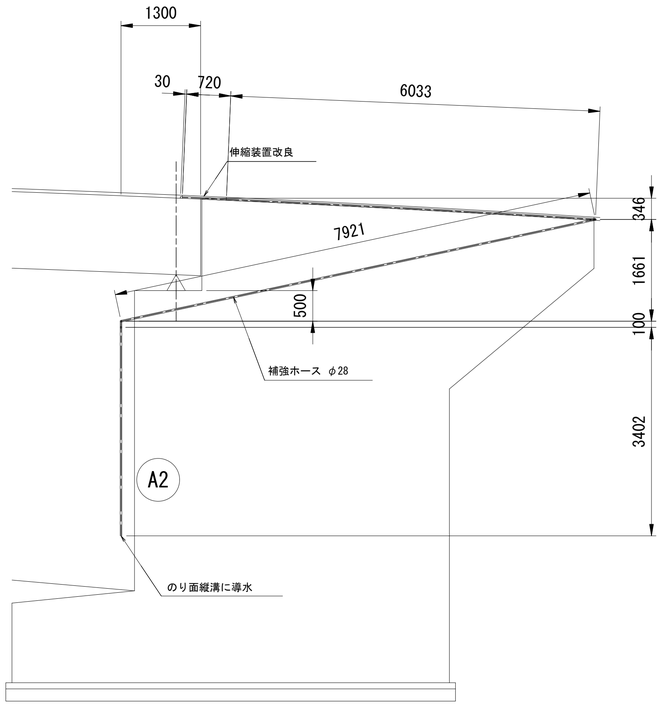


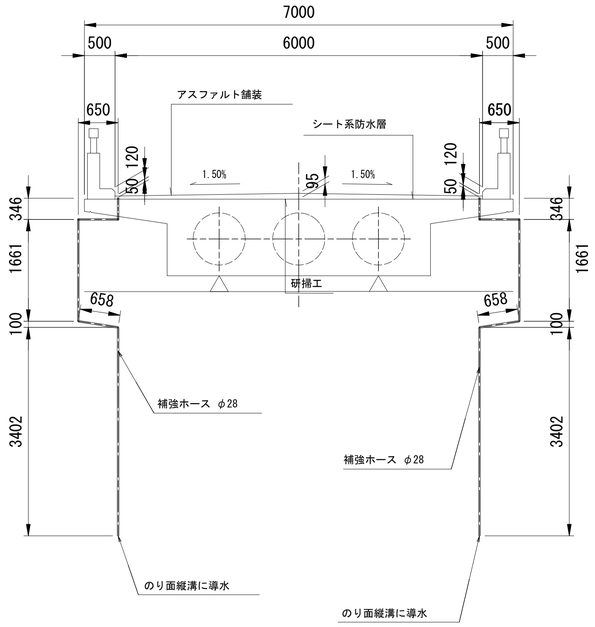
断 面 図　S=1:50

現況図



補修図
A2橋台側





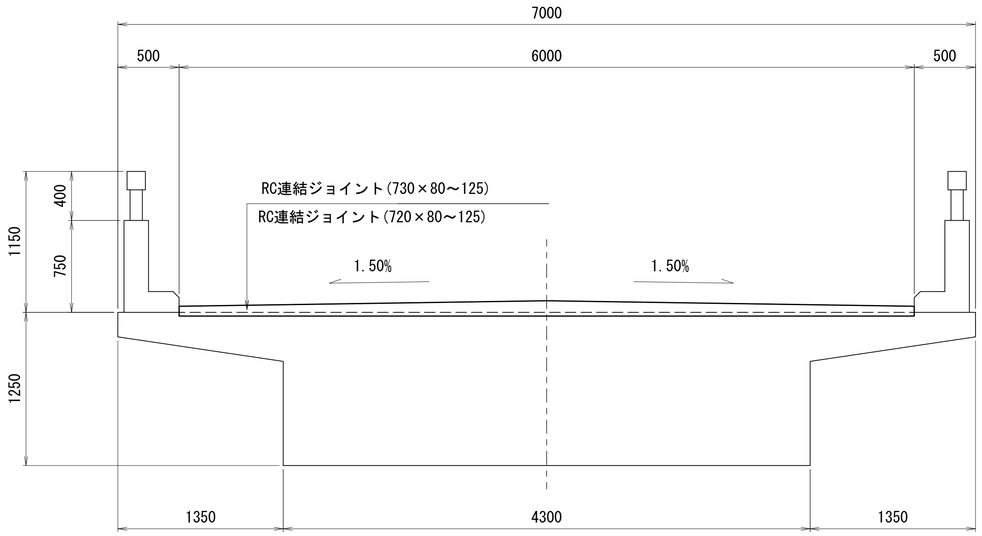
注）1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2.路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 橋面防水詳細図（その2）		
縮　　尺	1:50	図面番号	5/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

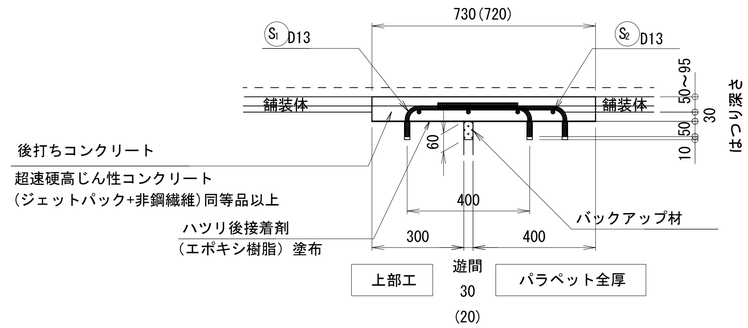
松島橋 伸縮装置詳細図(その1)

(A1・A2)

上部工断面図　S=1:25

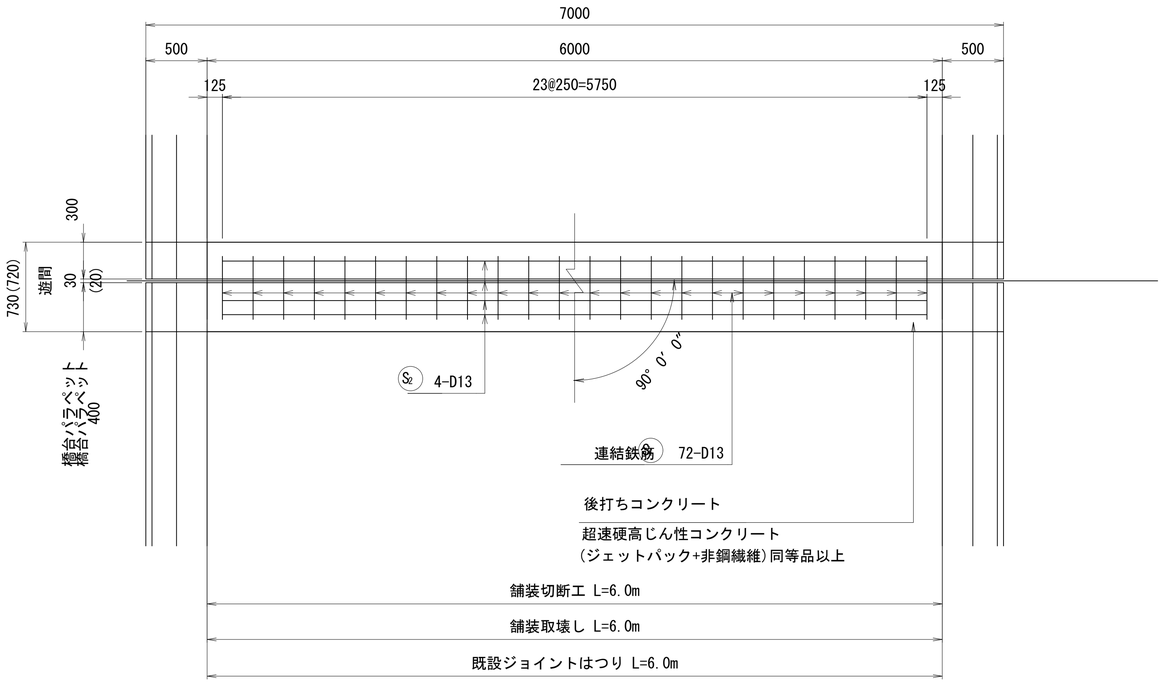


側面図　S=1:10



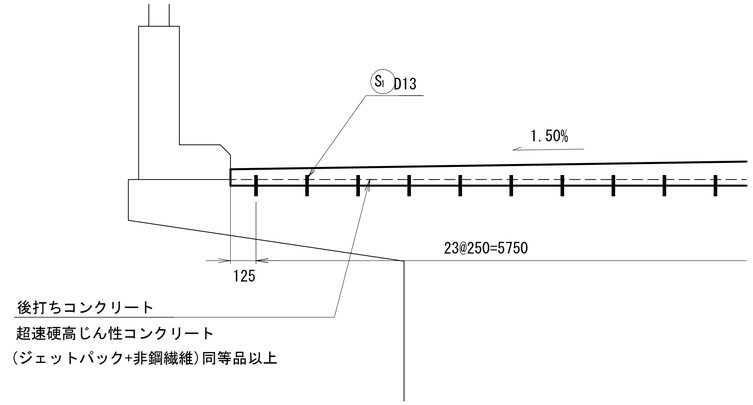
注)
1. 重ね継手は水平方向に重ねる。
2. 路面側かぶり厚30mmを確保する。
3. (　)はA2側の寸法を示す。

平面展開図　S=1:25



注)
1. (　)はA2側の寸法を示す。

断面詳細図　S=1:15



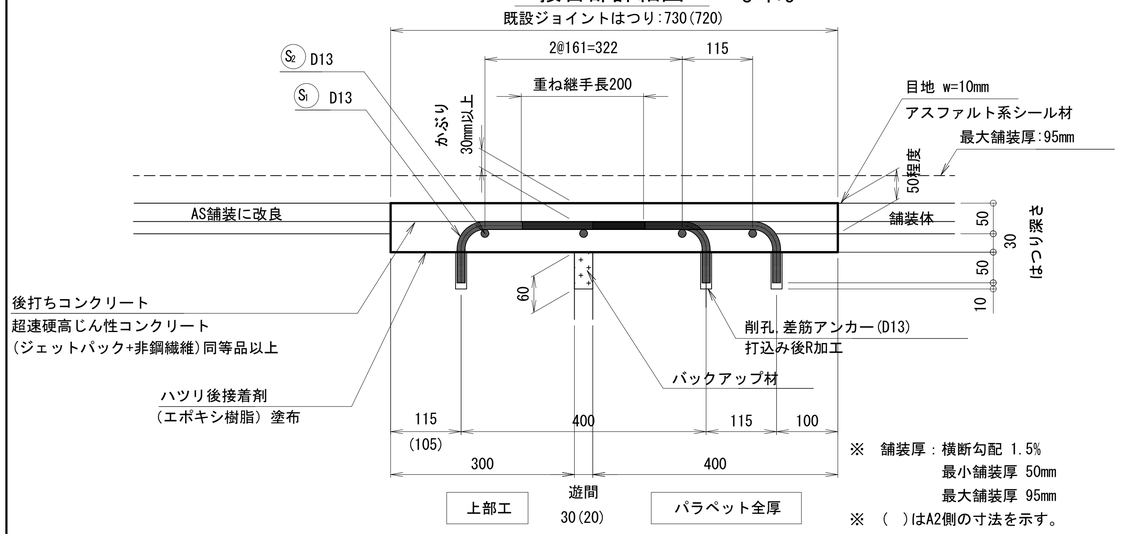
注) 1. 舗装Coカッター切断深さは現地状況により変更する。
2. 橋梁部はカッターラインのCo舗装を撤去後，
RC連結ジョイント定着深さまで慎重にはつり込む。
最小舗装厚50mmの箇所でRC連結ジョイントかぶり30mm確保する。
3. D13　SD295差筋アンカー用削孔φ18深さ60mmを
コンクリート用振動ドリルで削孔する。
削孔部はエアーで清掃し，機械式アンカーを定着する。
4. 伸縮装置遊間部にバックアップ材を設置する。
5. パラペット側施工境界部（パラペットの裏通り面）に
厚さ10mm，幅50mm以上の抜き型枠を設置する。
6. RC連結ジョイント内を清掃し，超速硬高じん性コンクリート
（ジェットパック＋非鋼繊維）同等品以上のコンクリートを打設する。
7. コンクリート養生後パラペット裏抜き型枠を撤去し，
アスファルト系加熱シール材（セロシール相当品）を
幅10mm深さ50mm部へ充填する。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松　島　橋		
図面の種類	松島橋 伸縮装置詳細図(その1)		
縮　　尺	図示	図面番号	6/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

松島橋 伸縮装置詳細図(その2)

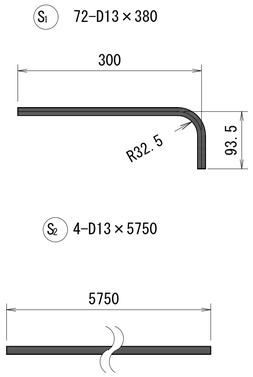
(橋　面　部)

接合部詳細図　S=1:5



※　舗装厚：横断勾配 1.5%
最小舗装厚 50mm
最大舗装厚 95mm
※　(　)はA2側の寸法を示す。

鉄筋加工図　S=1:5



〔橋面およびパラペット部〕

RC連結ジョイント数量表

【 A1側 】

項　目	単　位	数　量	寸法 (mm)	備　考
後打ちコンクリート	m3	0.45	730x(80+125)x0.5x6000	fck=24N/mm2
バックアップ材	m	6.0	60x6000	
鉄筋	kg	50		
アンカー削孔	箇所	72		
接着剤塗布	m2	4.8	(730+6000)x2x30+6000x730	
アスファルト系シール材	m	6.0	10x50x6000	
				【 A2側 】
後打ちコンクリート	m3	0.44	720x(80+125)x0.5x6000	fck=24N/mm2
バックアップ材	m	6.0	60x6000	
鉄筋	kg	50		
アンカー削孔	箇所	72		
接着材剤塗布	m2	4.7	(720+6000)x2x30+6000x720	
アスファルト系シール材	m	6.0	10x50x6000	

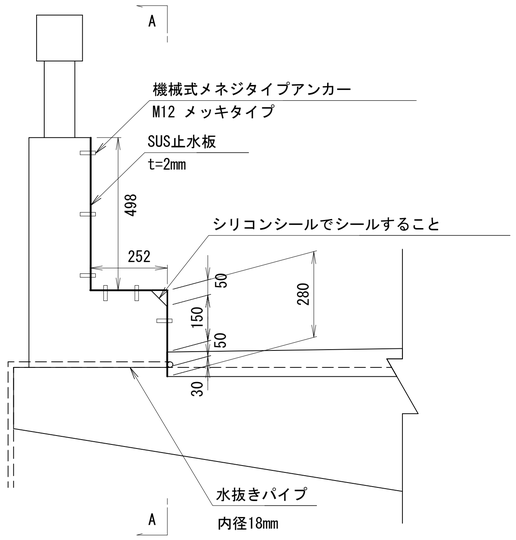
鉄筋質量表

鉄筋番号	呼び名	本　数	単位質量(Kg/m)	1本あたり長さ(mm)	1本あたり質量(Kg)	質量(Kg)	備　考
S1	D13	72	0.995	380	0.378	27	┌
S2	D13	4	0.995	5750	5.721	23	──

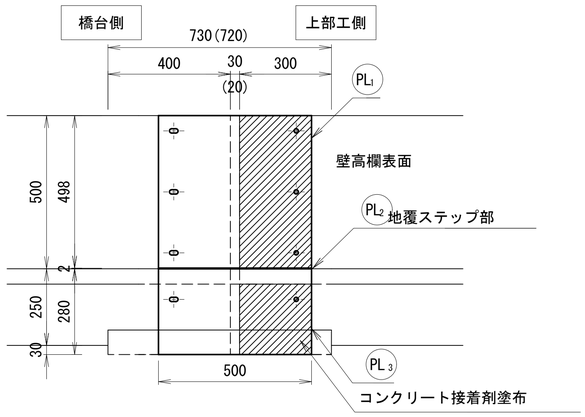
上記はA1側のみの数量。他施工該当箇所も同上。

(地　覆　部)

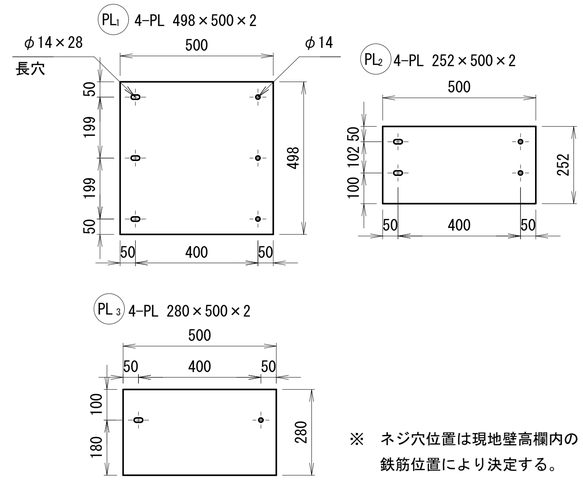
遊間カバー詳細図　S=1:10



遊間カバー正面図(A-A)　S=1:10



遊間カバー加工図　S=1:10



※　ネジ穴位置は現地壁高欄内の鉄筋位置により決定する。

〔地覆部〕

RC連結ジョイント数量表

項　目	単　位	数　量	寸法 (mm)	備　考
SUS止水板 (PL1)	枚	2	PL 498x500x2	A1,A2共通
SUS止水板 (PL2)	枚	2	PL 252x500x2	A1,A2共通
SUS止水板 (PL3)	枚	2	PL 280x500x2	A1,A2共通
機械式メネジアンカー	本	24	M12 ステンレスタイプ	A1,A2共通
ボルト	個	24	ステンレスM12ボルト	A1,A2共通
ワッシャー	個	24	M12 ステンレスタイプ	A1,A2共通
アンカー削孔	箇所	24		A1,A2共通
上記はA1側のみの数量。他施工該当箇所も同上。				
コンクリート接着剤(A1)	m2	0.44	(498+202+230)x235x2	
コンクリート接着剤(A2)	m2	0.45	(498+202+230)x240x2	

注）1.地覆部については，厚さ2mmのステンレス板を地覆前面に型枠代わりとして上部工側のみコンクリート接着剤で既設地覆と接着固定した状態で，RC連結ジョイントで施工する後打ちコンクリートに埋め込むように地覆遊間部の止水板として設置する。
2.縦断勾配下流側のRC連結ジョイント地覆前面側には，床版防水工施工時に設置する床版排水処理用のスパイラルメッシュφ18の排水を伸縮装置遊間部を通して，既設のり面縦排水溝で導水する，補強ホース内径18mmを後打ちコンクリート内に上記排水経路となるように配置する。
3.壁高欄表面の伸縮装置遊間部に厚さ2mmのステンレス遊間カバーを設置する。
4.遊間カバーに取付けるボルトは，ゆるみ防止の為ネジロック等の処置を施すこと。
5.A2はA1と同構造である。
6.地覆部施工時には，通信ケーブル等の埋設物がない事を確認すること。
7.(　)はA2側の寸法を示す。

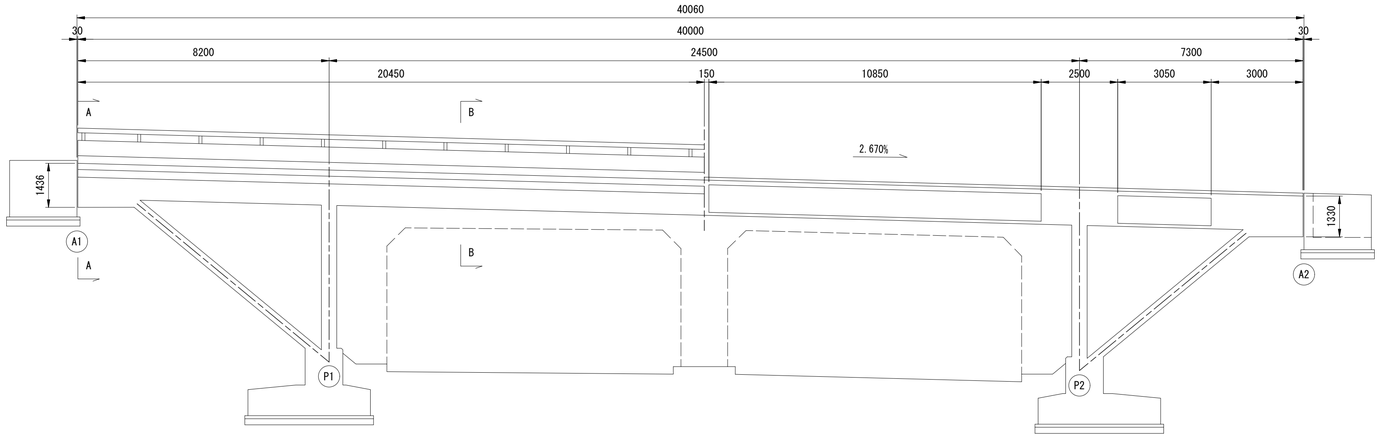
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	松島橋		
図面の種類	松島橋 伸縮装置詳細図(その2)		
縮　　尺	図示	図面番号	7/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

大出橋 上部工構造一般図

S=1:100

側 面 図

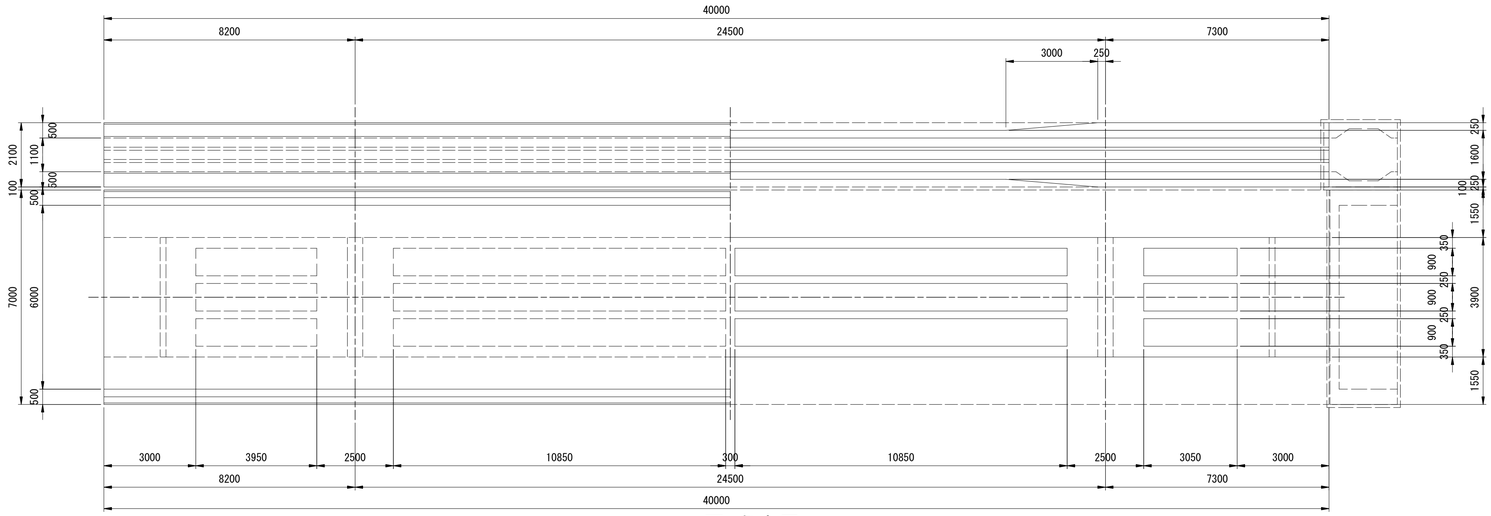
S=1:100



平 面 図

S=1:100

至 東京

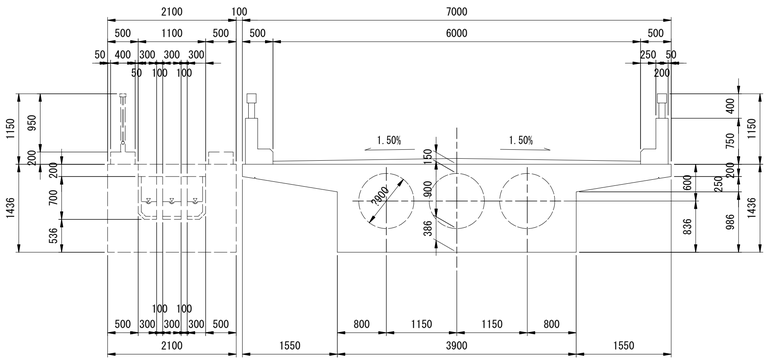


至 名古屋

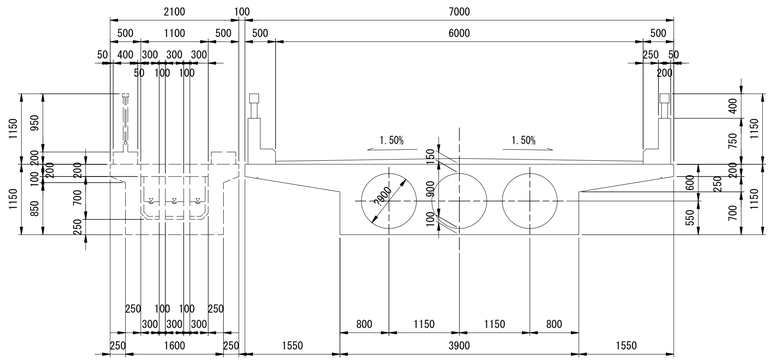
断 面 図

S=1:50

A － A



B － B



設計条件

型　　式	PC斜材付π型ラーメン橋	
橋　　長	40.060m	
桁　　長	40.000m	
支　　間	8.200m+24.500m+7.300m	
有効幅員	6.000m	
活荷重	TL-20	
斜　　角	90° 00′	
縦断勾配	2.670%	
コンクリート強度	350kg/cm²	
導入時	300kg/cm²	
圧縮応力度	115kg/cm²	
引張応力度	13.5kg/cm²	
舗装厚	50～95mm	
ＰＣ鋼材	37φ26.8	φ23
引張強度	181kg/mm²	95kg/mm²
設計荷重時	108kg/mm²	57kg/mm²
導　　入	130kg/mm²	72kg/mm²
鉄　筋	床　版	1400kg/cm²
(SD30)	その他	1800kg/cm²

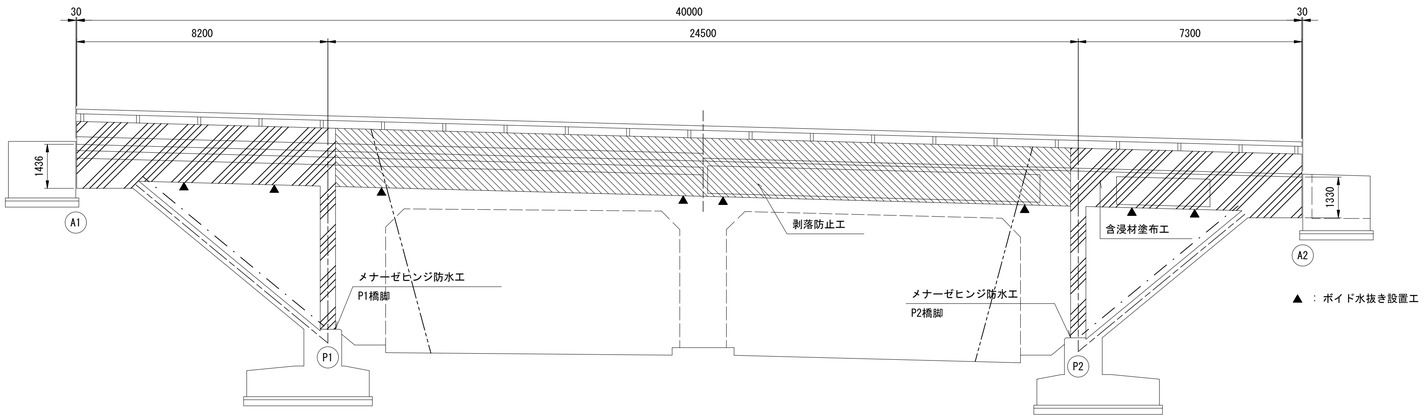
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 上部工構造一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	1/7
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　輪　町		

大出橋 補修一般図

S=1:100

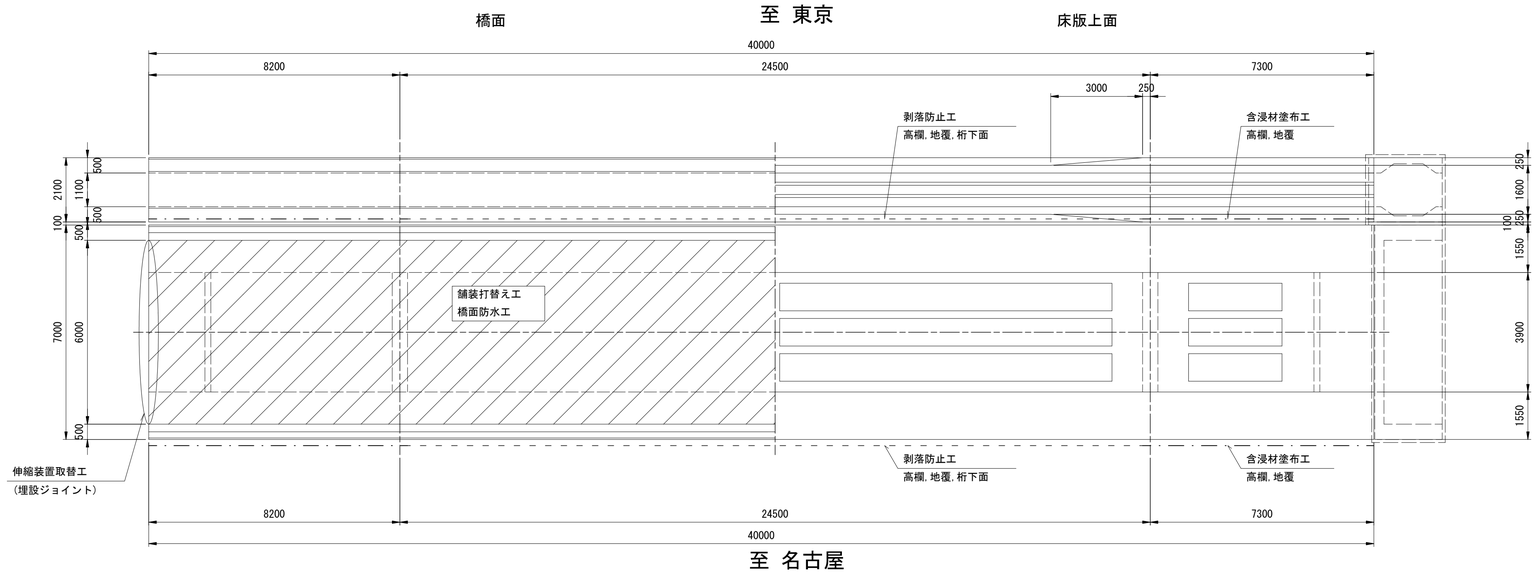
側 面 図

S=1:100



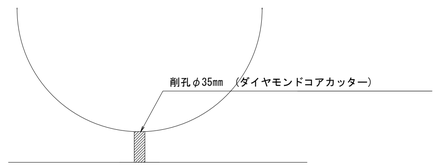
平 面 図

S=1:100



ボイド水抜き詳細図

S=1:10



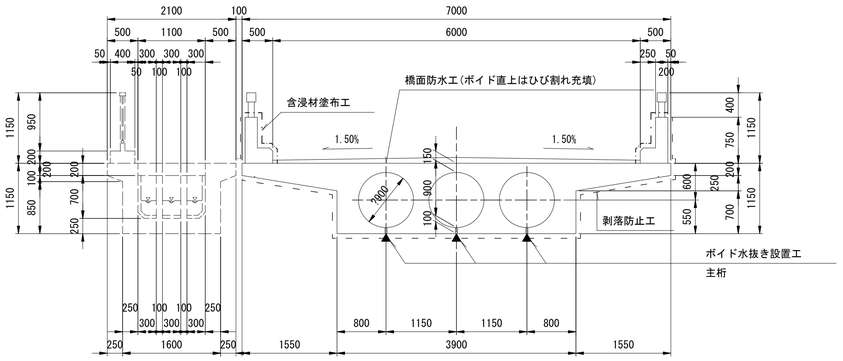
水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること

ボイド水抜き設置工

名 称	単位	数 量	備 考
ボイド水抜き孔	箇所	24	φ35mm

断 面 図

S=1:50



補修工一覧

部位			損傷内容	補修項目
上部工	主桁		剥離・鉄筋露出	断面修復工（無収縮性ﾓﾙﾀﾙ，亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り）
				ボイド水抜き設置工
				剥落防止工
		中空ボイド上	ひびわれ	可とう性エポキシ樹脂充填
	高欄，地覆	A1-A2径間		含浸材塗布工
橋面	舗装		ひびわれ	橋面防水工（ボイド直上はひび割れ充填），舗装打替え工
	伸縮			伸縮装置取替え工，撤去工
下部工	橋脚	P1，P2橋脚	ひびわれ 剥離・鉄筋露出	断面修復工（無収縮性ﾓﾙﾀﾙ，亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り） 可とう性エポキシ樹脂充填 含浸材塗布工 メナーゼヒンジ防水工

注）1.施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

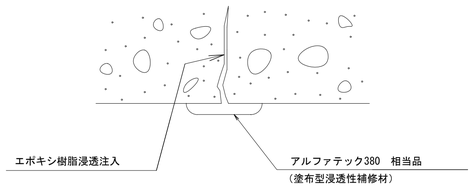
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 補修一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	2/7
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　輪　町		

大出橋 補修図(その5)

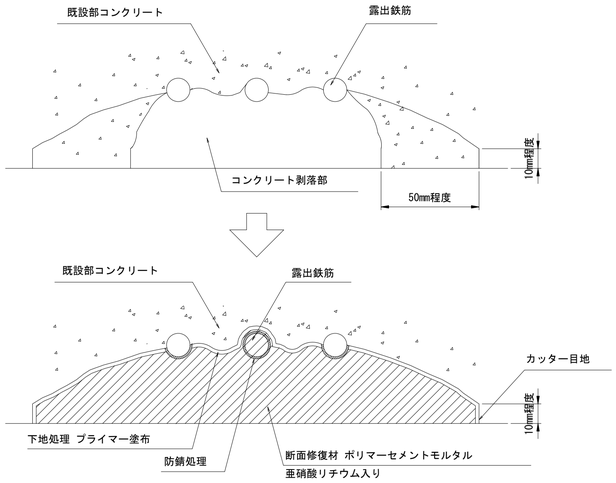
今 回 施 工 箇 所

ひびわれ注入工詳細図

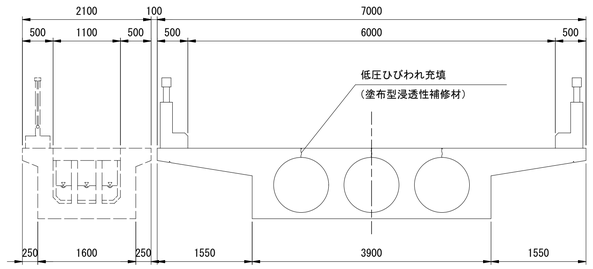
(ひびわれ幅0.2mm以上～0.5mm未満)



断面修復工要領図



ボイド上部ひびわれ補修要領図



中空ボイド上ひびわれ補修要領

開　始

↓

床版工ひび割れ打音調査
周辺ぜい弱部撤去

↓

ひび割れカッター入れ 10x10

↓

清　掃

↓

コンクリート面にプライマー塗布

↓

床版コンクリートはつり部の断面修復

↓

可とう性エポキシ樹脂充填

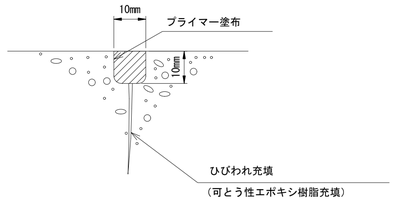
↓

養　生

↓

終　了

中空ボイド上ひびわれ補修詳細図

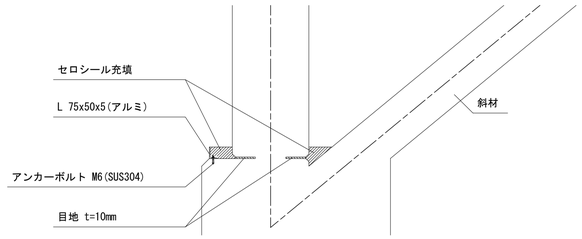


延長数量

ひびわれ 長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考
40000	3	120.0	X0.5

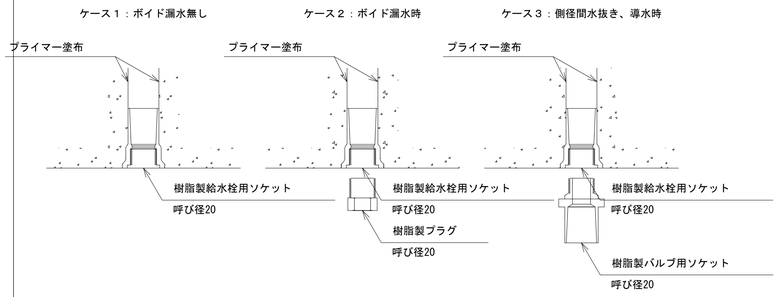
注) コンクリート舗装撤去時に決定する。

メナーゼヒンジ防水工



中央径間側にアングルを設置
斜材側のセロシールは、中央径間側のアングル天端高さまでとする。

ボイド水抜きパイプ参考図



※1 水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること。
※2 パイプ接合部にはシールテープを施工する事。

断面修復工一覧表

番号	損傷の種類	損傷範囲 縦(mm)	×	横(mm)	箇所	面積 (m2)	備考
1	剥離・鉄筋露出	170	×	330	1	0.057	名古屋側壁高欄内面
2	剥離・鉄筋露出	430	×	420	1	0.181	名古屋側壁高欄内面
3	剥離・鉄筋露出	440	×	230	1	0.102	名古屋側壁高欄内面
4	剥離・鉄筋露出	410	×	390	1	0.160	名古屋側壁高欄内面
5	剥離・鉄筋露出	220	×	240	1	0.053	名古屋側壁高欄内面
6	剥離・鉄筋露出	140	×	230	1	0.033	名古屋側壁高欄内面
7	剥離・鉄筋露出	150	×	230	1	0.035	東京側側面
8	剥離・鉄筋露出	290	×	670	1	0.195	下面
9	剥離・鉄筋露出	240	×	270	1	0.065	下面
10	異物混入	210	×	260	1	0.055	下面
11	異物混入	210	×	290	1	0.061	下面
12	異物混入	160	×	220	1	0.036	下面
13	異物混入	220	×	290	1	0.064	下面
14	剥離・鉄筋露出	290	×	820	1	0.238	名古屋側側面
15	剥離・鉄筋露出	290	×	440	1	0.128	名古屋側側面
16	剥離・鉄筋露出	880	×	460	1	0.405	P2橋脚名古屋側側面
17	剥離・鉄筋露出	170	×	280	1	0.048	P1橋脚・P2面
合計						1.916	

ひびわれ注入工一覧表

○番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考	
L1	0.200	×	440	1	0.44	東京側側面	a
L2	0.200	×	530	1	0.53	東京側側面	a
L3	0.200	×	420	1	0.42	東京側側面	a
L4	0.300	×	500	1	0.50	東京側側面	a
L5	0.400	×	630	1	0.63	東京側側面	a
L6	0.300	×	480	1	0.48	東京側側面	b
L7	0.300	×	120	1	0.12	P2橋脚東京側側面	b
L8	0.200	×	1070	1	1.07	下面	c
L9	0.200	×	1450	1	1.45	下面	c
L10	0.200	×	500	1	0.50	下面	c
L11	0.200	×	780	1	0.78	下面	c
L12	0.200	×	490	1	0.49	下面	c
L13	0.200	×	350	1	0.35	下面	c
L14	0.300	×	420	1	0.42	下面	c
L15	0.300	×	1070	1	1.07	下面	c
L16	0.300	×	1250	1	1.25	下面	c
L17	0.200	×	950	1	0.95	下面	d
L18	0.200	×	120	1	0.12	下面	d
L19	0.300	×	550	1	0.55	名古屋側側面	e
L20	0.400	×	800	1	0.80	名古屋側側面	e
L21	0.400	×	250	1	0.25	名古屋側側面	e
合計					13.17		

ひびわれ充填工一覧表

□番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考	
L1	1.500	×	950	1	0.95	東京側側面	f
L2	1.500	×	390	1	0.39	東京側側面	f
L3	2.000	×	840	1	0.84	東京側側面	f
L4	2.000	×	520	1	0.52	東京側側面	f
L5	2.000	×	840	1	0.84	名古屋側側面	g
L6	2.000	×	320	1	0.32	名古屋側側面	g
L7	2.000	×	1300	1	1.30	名古屋側側面	g
L8	0.700	×	170	1	0.17	P1橋脚・P2面	h
L9	0.700	×	230	1	0.23	P1橋脚・P2面	h
L10	0.700	×	210	1	0.21	P1橋脚・P2面	h
L11	0.700	×	270	1	0.27	P1橋脚・P2面	h
L12	0.700	×	200	1	0.20	P1橋脚・P2面	h
L13	0.700	×	270	1	0.27	P1橋脚・P2面	h
L14	0.700	×	310	1	0.31	P1橋脚・P2面	h
L15	0.700	×	180	1	0.18	P1橋脚・P2面	h
L16	0.700	×	260	1	0.26	P1橋脚・P2面	h
L17	0.700	×	390	1	0.39	P1橋脚・P2面	h
L18	0.700	×	100	1	0.10	P1橋脚・P2面	h
L19	0.700	×	110	1	0.11	P1橋脚・P2面	h
L20	0.700	×	1650	1	1.65	P1橋脚・P2面	h
L21	0.700	×	140	1	0.14	P1橋脚・P2面	h
L22	0.700	×	170	1	0.17	P1橋脚・P2面	h
L23	0.700	×	120	1	0.12	P1橋脚・P2面	h
L24	0.700	×	90	1	0.09	P1橋脚・P2面	h
L25	0.700	×	1170	1	1.17	P1橋脚・P2面	h
L26	0.700	×	170	1	0.17	P1橋脚・P2面	h
L27	0.700	×	70	1	0.07	P1橋脚・P2面	h
L28	0.700	×	140	1	0.14	P1橋脚・P2面	h
L29	0.700	×	160	1	0.16	P1橋脚・P2面	h
合計					11.74		

注) 1.画像判定のため設計数量が変わる可能性があるので
現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

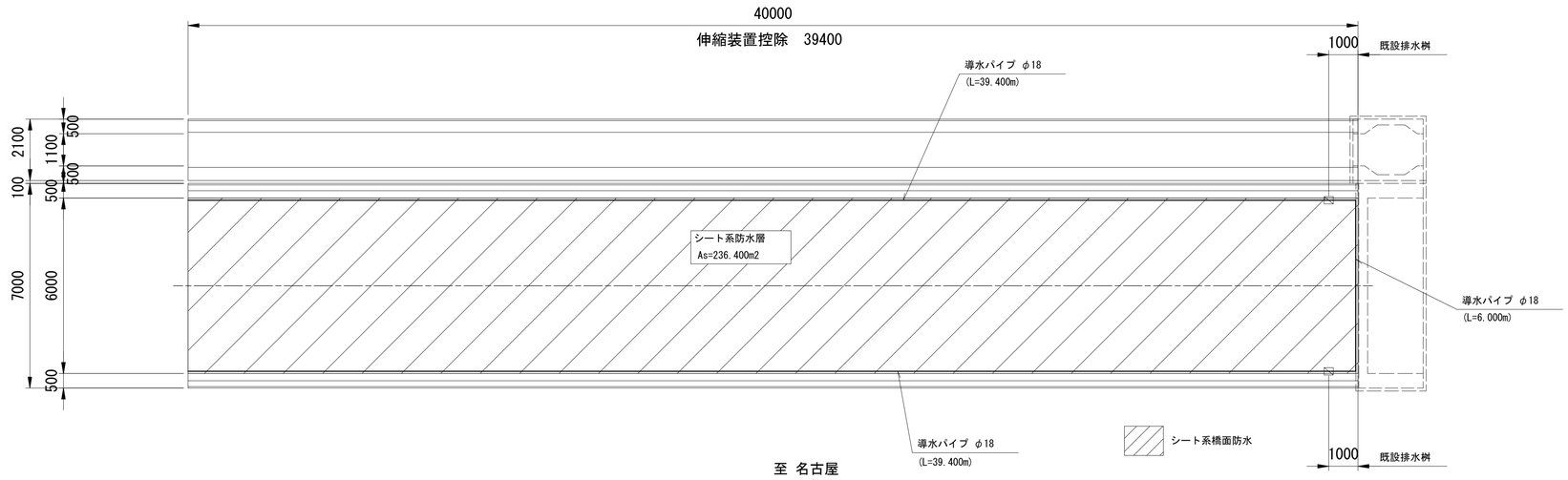
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 補修図(その5)		
縮　　尺	-	図面番号	3/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	筑　　輪　　町		

大出橋 橋面防水詳細図

S=1:100

平 面 図

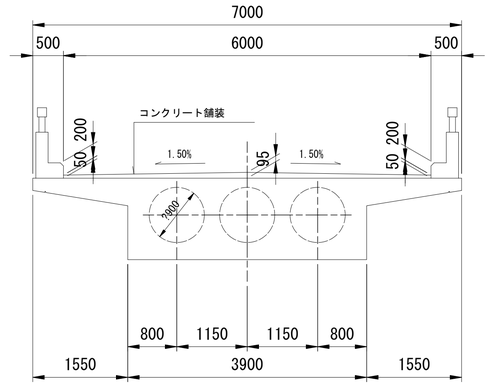
S=1:100



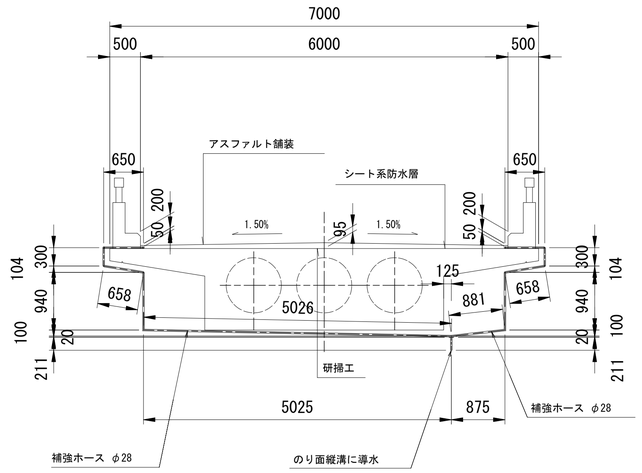
断 面 図

S=1:50

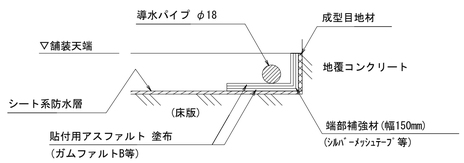
現況図

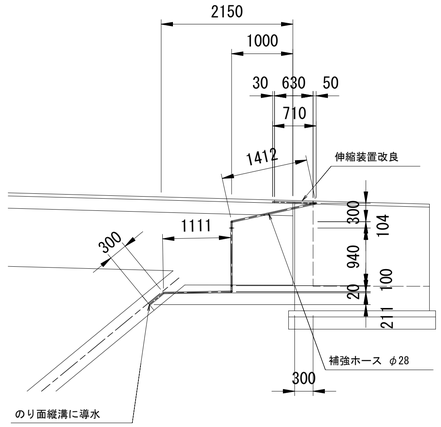


補修図



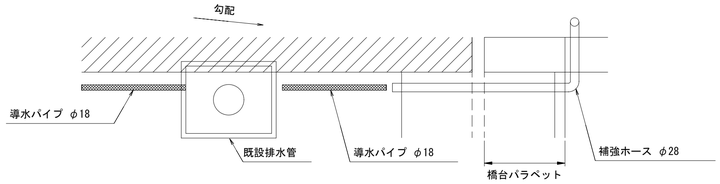
端部処理構造図



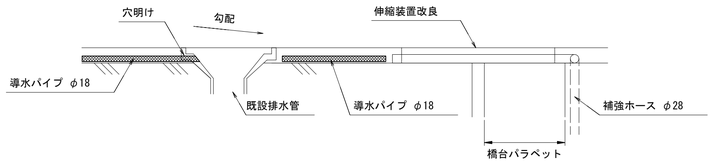


排水桝詳細図

平面図



断面図



橋面防水材料表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
橋面防水	シート系防水層	m2	236.4	
導水パイプ ステンレス製	φ18	m	84.8	
成型目地材	幅30mm	m	90.8	
端部補強材	幅150mm	m	90.8	
補強ホース	φ28 (内径φ18)	本	2	

舗装打ち換え工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
撤去工	コンクリート舗装	m3	16.6	t=70mm
復旧工	アスファルト舗装	m2	236.4	t=70mm

※1)対象橋梁の舗装厚については、70mm(平均)と仮定するが、
施工時に既設の舗装厚を確認し、現状に応じた舗装厚を再検討すること。

※2)舗装については、土工部との摺付けを行うこと。

※3)コンクリート舗装の撤去については、交差する中央道への破片の
落下の恐れがあるため、ブレーカーはつりではなく、小片に切断
して撤去を行うこと。

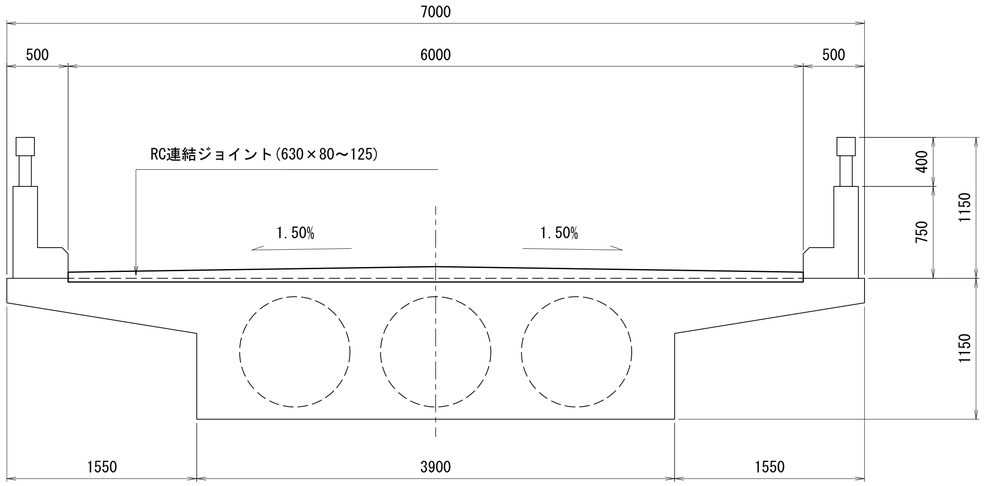
注) 1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2.路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 橋面防水詳細図		
縮 尺	1:100	図面番号	4/7
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕 輪 町		

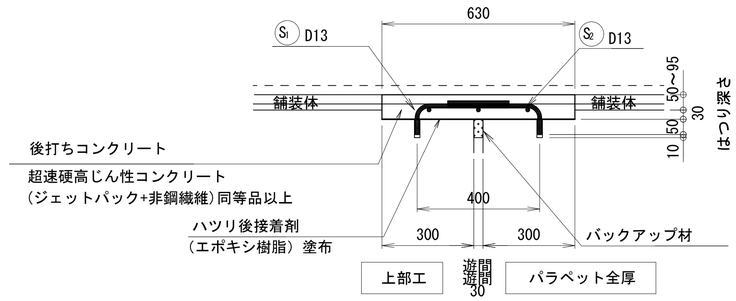
大出橋 伸縮装置詳細図(その1)

(A1・A2)

上部工断面図　S=1:25

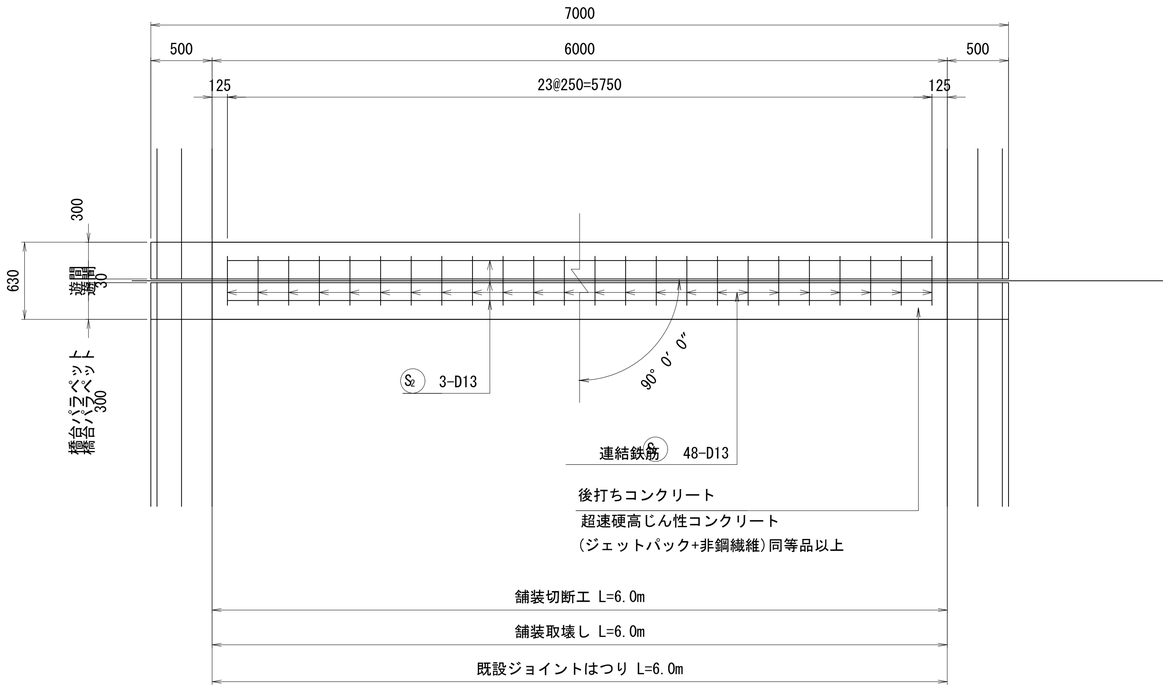


側面図　S=1:10

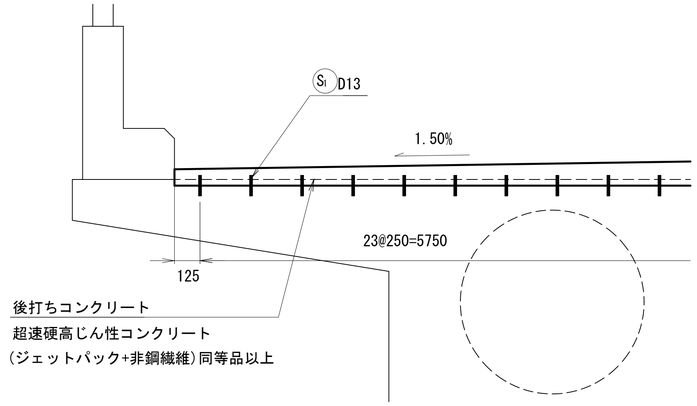


注)
1. 重ね継手は水平方向に重ねる。
2. 路面側かぶり厚30mmを確保する。

平面展開図　S=1:25



断面詳細図　S=1:15



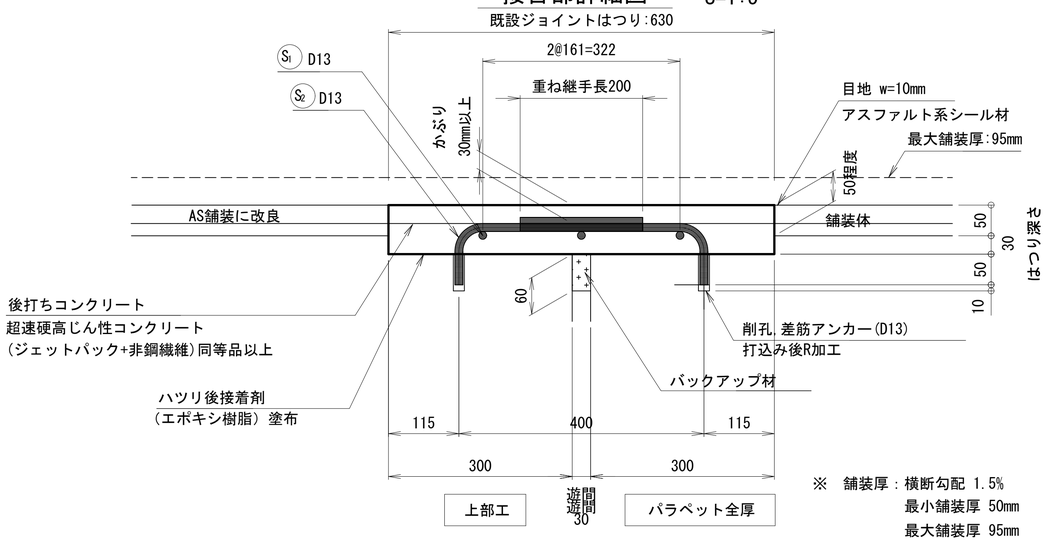
注) 1. 舗装Coカッター切断深さは現地状況により変更する。
2. 橋梁部はカッターラインのCo舗装を撤去後,
RC連結ジョイント定着深さまで慎重にはつり込む。
最小舗装厚50mmの箇所でRC連結ジョイントかぶり30mm確保する。
3. D13　SD295差筋アンカー用削孔φ18深さ60mmを
コンクリート用振動ドリルで削孔する。
削孔部はエアーで清掃し, 機械式アンカーを定着する。
4. 伸縮装置遊間部にバックアップ材を設置する。
5. パラペット側施工境界部（パラペットの裏通り面）に
厚さ10mm, 幅50mm以上の抜き型枠を設置する。
6. RC連結ジョイント内を清掃し, 超速硬高じん性コンクリート
（ジェットパック＋非鋼繊維）同等品以上のコンクリートを打設する。
7. コンクリート養生後パラペット裏抜き型枠を撤去し,
アスファルト系加熱シール材（セロシール相当品）を
幅10mm深さ50mm部へ充填する。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 伸縮装置詳細図(その1)		
縮　　尺	図示	図面番号	5/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

大出橋 伸縮装置詳細図(その2)

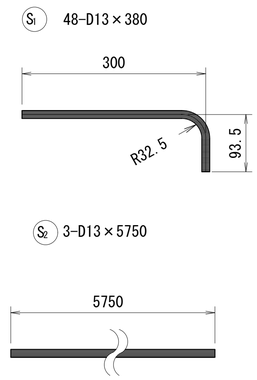
(橋　面　部)

接合部詳細図　S=1:5



※　舗装厚：横断勾配 1.5%
最小舗装厚 50mm
最大舗装厚 95mm

鉄筋加工図　S=1:5



〔橋面およびパラペット部〕

RC連結ジョイント数量表

項　目	単　位	数　量	寸法 (mm)	備　考
後打ちコンクリート	m3	0.39	630x(80+125)x0.5x6000	fck=24N/mm2 A1,A2共通
バックアップ材	m	6.0	60x6000	A1,A2共通
鉄筋	kg	35		A1,A2共通
アンカー削孔	箇所	48		A1,A2共通
接着剤塗布	m2	4.2	(630+6000)x2x30+6000x630	A1,A2共通
アスファルト系シール材	m	6.0	10x50x6000	A1,A2共通

上記はA1側のみの数量。他施工該当箇所も同上。

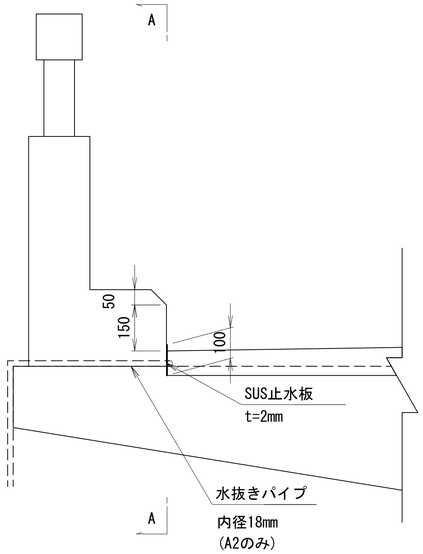
鉄筋質量表

鉄筋番号	呼び名	本　数	単位質量(Kg/m)	1本あたり長さ(mm)	1本あたり質量(Kg)	質量(Kg)	備　考
S1	D13	48	0.995	380	0.378	18	┌
S2	D13	3	0.995	5750	5.721	17	──

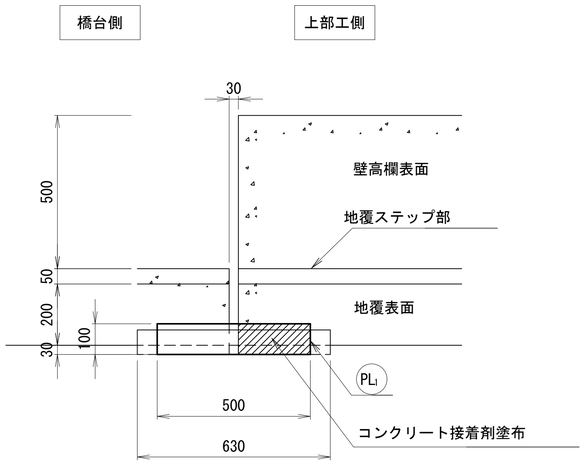
上記はA1側のみの数量。他施工該当箇所も同上。

(地　覆　部)

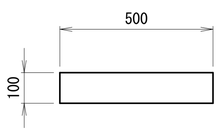
遊間カバー詳細図　S=1:10



遊間カバー正面図(A-A)　S=1:10



遊間カバー加工図　S=1:10



〔地覆部〕

RC連結ジョイント数量表

項　目	単　位	数　量	寸法 (mm)	備　考
SUS止水板 PL1	枚	2	PL 100x500x2	A1,A2共通
コンクリート接着剤	m2	0.05	100x235x2	A1,A2共通

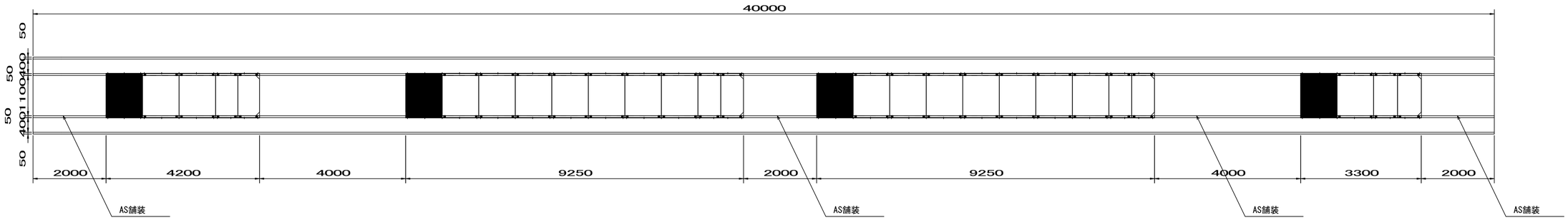
上記はA1側のみの数量。他施工該当箇所も同上。

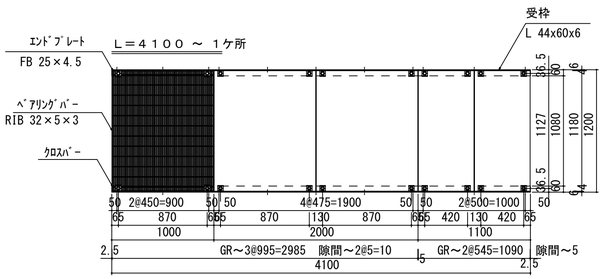
注）1.地覆部については，厚さ2mmのステンレス板を地覆前面に型枠代わりとして上部工側のみコンクリート接着剤で既設地覆と接着固定した状態で，RC連結ジョイントで施工する後打ちコンクリートに埋め込むように地覆遊間部の止水板として設置する。
2.縦断勾配下流側のRC連結ジョイント地覆前面側には，床版防水工施工時に設置する床版排水処理用のスパイラルメッシュφ18の排水を伸縮装置遊間部を通して既設のり面縦排水溝で導水する，補強ホース内径18mmを後打ちコンクリート内に上記?r水経路となるように配置する。
4.A2はA1と同構造である。
5.地覆部施工時には，通信ケーブル等の埋設物がない事を確認すること。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋		
図面の種類	大出橋 伸縮装置詳細図(その2)		
縮　　尺	図示	図面番号	6/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

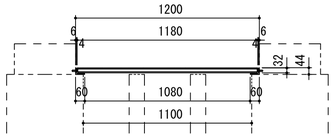
大出橋　歩道整備工グレーチング

グレーチング配置図　S=1:60

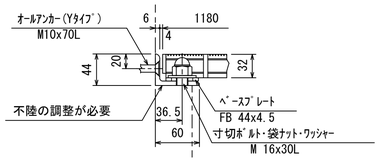




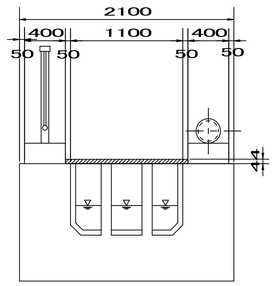
断面図



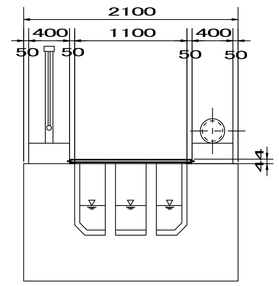
ボルト 固定部詳細

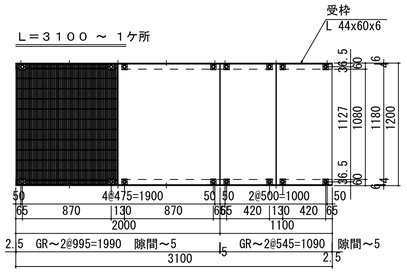


アスファルト舗装図　S=1:30

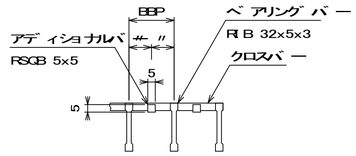


グレーチング図　S=1:30

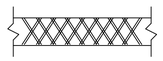


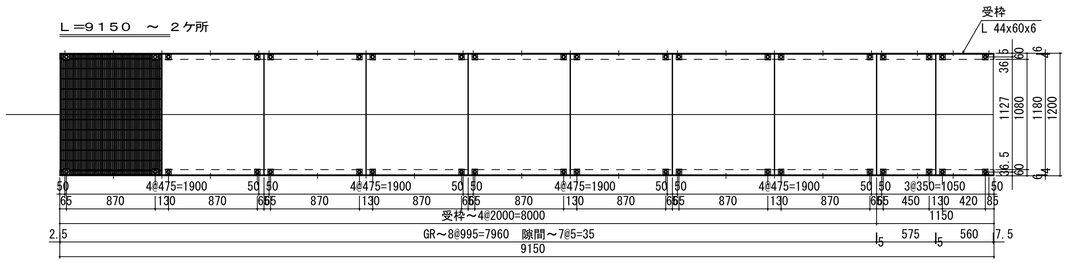


グレーチング断面詳細



ベアリングバー上面
（ザラザラ）





記事

1．型式　　Ｒ１ＥＣ３２　エコ細目
2．表面処理　グレーチング：亜鉛メッキ
　　受　　枠　　：黒ペイント
3．弊社製品の亜鉛メッキは、「JIS H 8641」に則り
　全てＪＩＳ認定工場にて施しております。

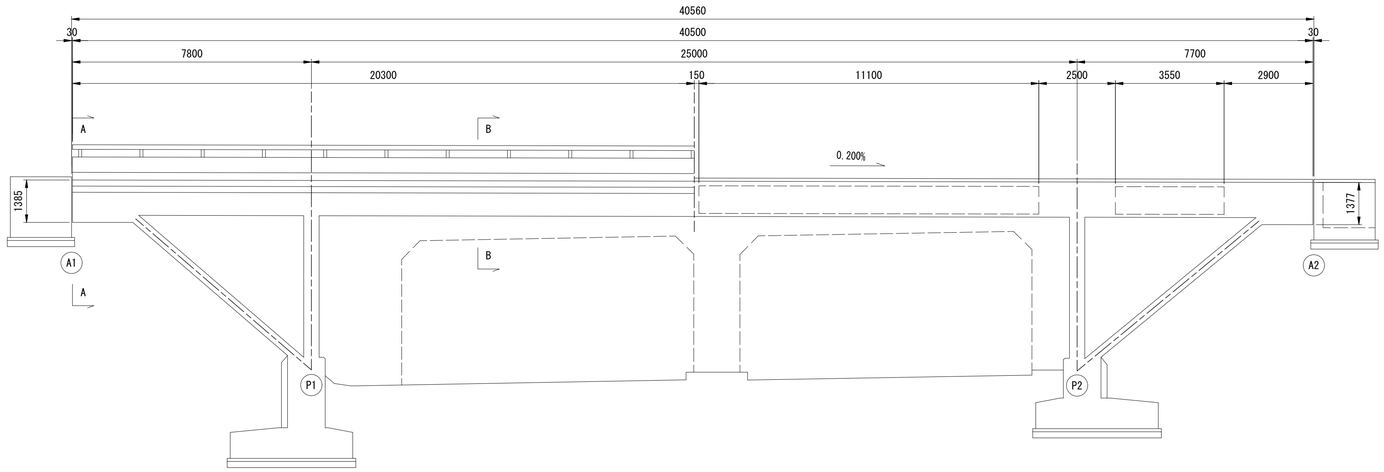
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁修繕　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大出橋（歩道橋）		
図面の種類	大出橋　歩道整備工グレーチング		
縮　　尺	図示	図面番号	7/7
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

大原橋 上部工構造一般図

S=1:100

側 面 図

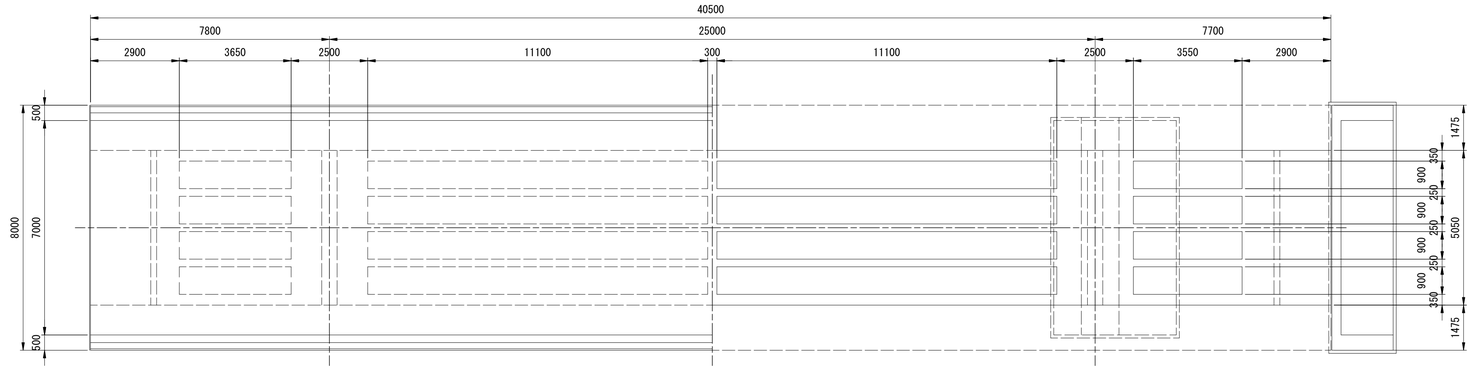
S=1:100



平 面 図

S=1:100

至 東京

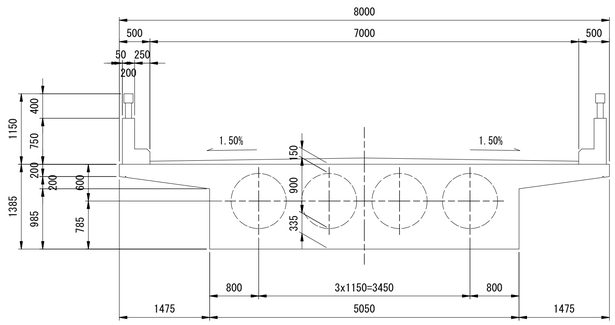


至 名古屋

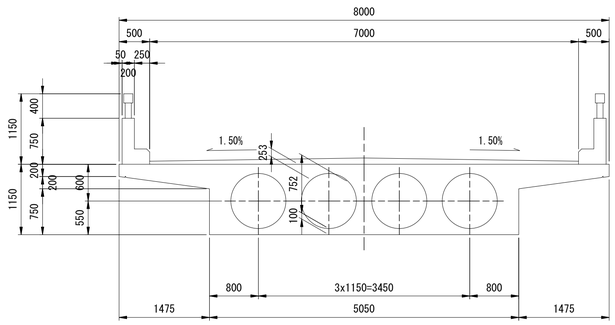
断 面 図

S=1:50

A － A



B － B



設計条件

型　　式	PC斜材付π型ラーメン橋	
橋　　長	40.560m	
桁　　長	40.500m	
支　　間	7.800m+25.000m+7.700m	
有効幅員	7.000m	
活荷重	TL-20	
斜　　角	90° 00′	
縦断勾配	0.200%	
コンクリート強度	350kg/cm²	
導入時	300kg/cm²	
圧縮応力度	115kg/cm²	
引張応力度	13.5kg/cm²	
舗装厚	50～103mm	
PC鋼材	37φ26.8	φ23
引張強度	181kg/mm²	95kg/mm²
設計荷重時	108kg/mm²	57kg/mm²
導入	130kg/mm²	72kg/mm²
鉄筋	床版	1400kg/cm²
(SD30)	その他	1800kg/cm²

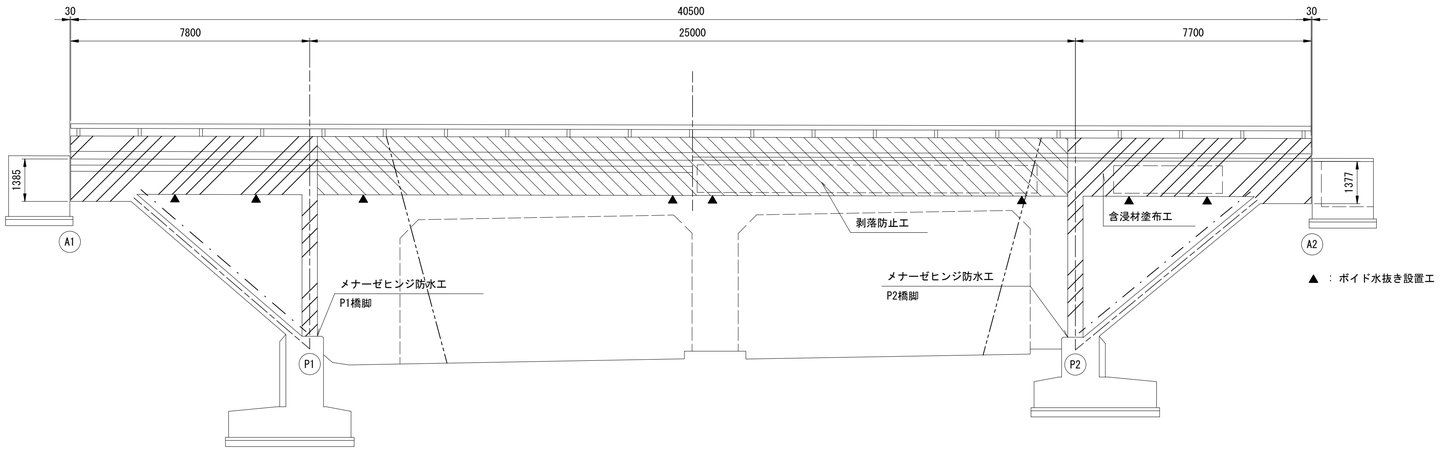
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 上部工構造一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	1/6
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　輪　町		

大原橋 補修一般図

S=1:100

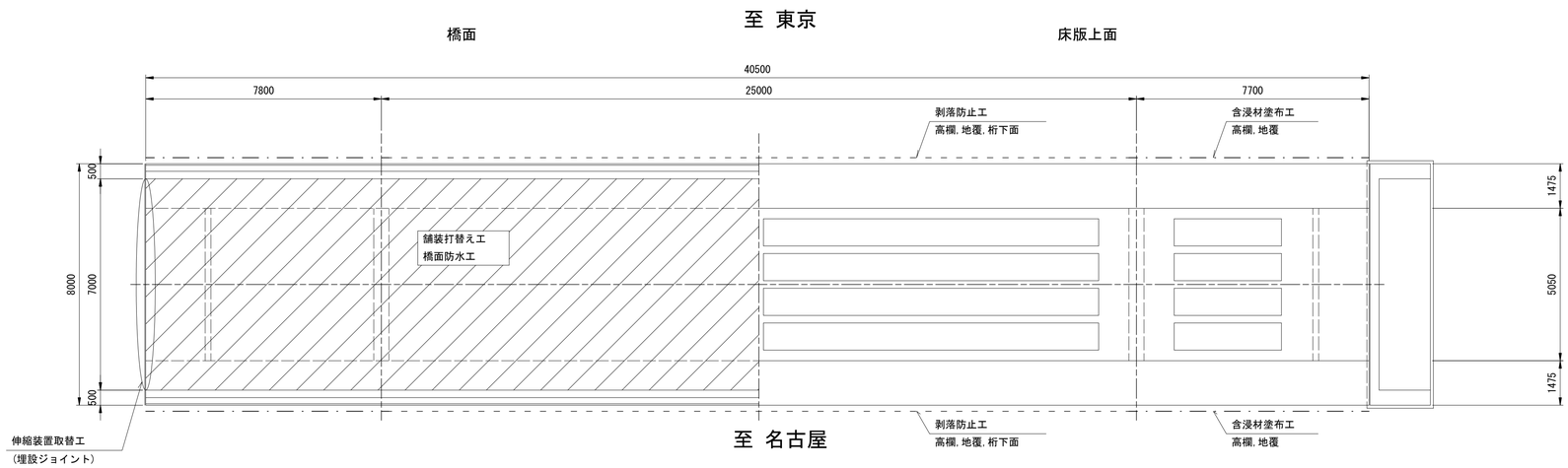
側 面 図

S=1:100



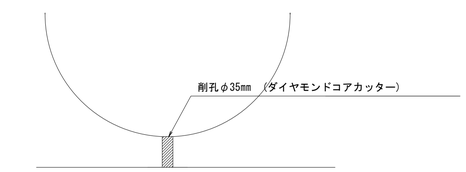
平 面 図

S=1:100



ボイド水抜き詳細図

S=1:10



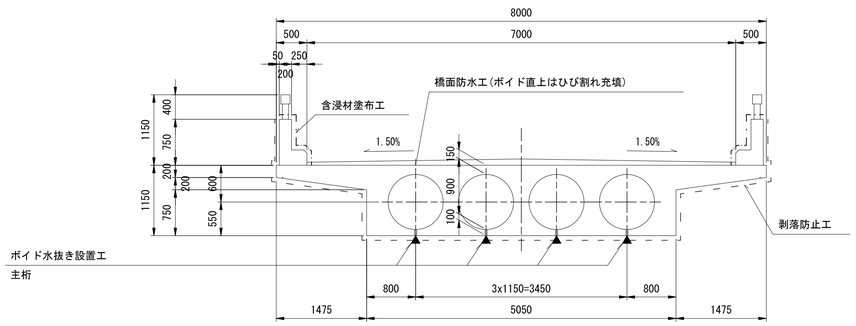
水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること

ボイド水抜き設置工

名 称	単位	数 量	備 考
ボイド水抜き孔	箇所	32	φ35mm

断 面 図

S=1:50



補修工一覧

部位			損傷内容	補修項目
上部工	主桁		剥離・鉄筋露出	断面修復工(無収縮性ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ，亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り)
				ボイド水抜き設置工
				剥落防止工
		中空ボイド上	ひびわれ	可とう性エポキシ樹脂充填
	高欄，地覆	A1-A2径間		含浸材塗布工
橋面	舗装		ひびわれ	橋面防水工(ボイド直上はひび割れ充填)，舗装打替え工
	伸縮			伸縮装置取替え工，撤去工
下部工	橋脚	P1，P2橋脚	ひびわれ 剥離・鉄筋露出	断面修復工(無収縮性ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ，亜硝酸ﾘﾁｳﾑ入り) エポキシ樹脂浸透注入 含浸材塗布工 メナーゼヒンジ防水工

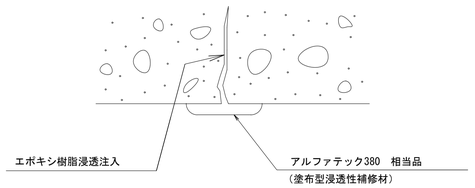
注) 1.施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 補修一般図		
縮　　尺	1:100	図面番号	2/6
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　　輪　　町		

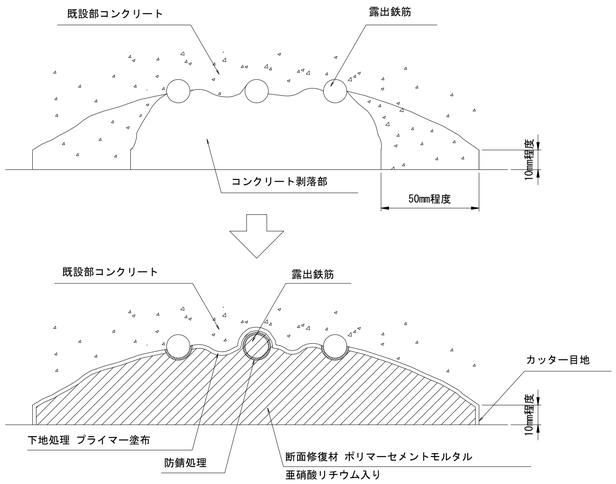
大原橋 補修図(その5)

ひびわれ注入工詳細図

(ひびわれ幅0.2mm以上～0.5mm未満)

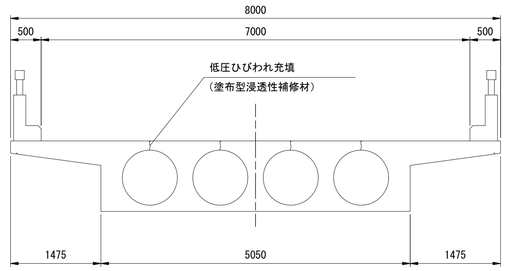


断面修復工要領図

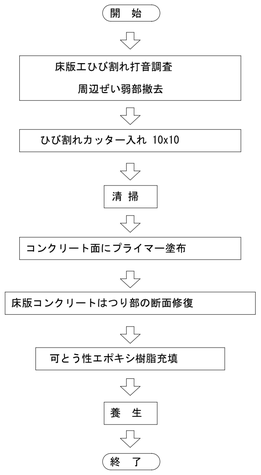


今 回 施 工 箇 所

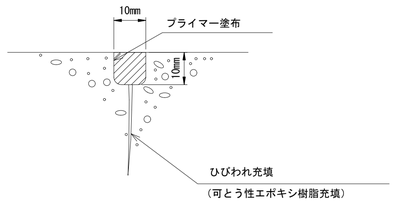
ボイド上部ひびわれ補修要領図



中空ボイド上ひびわれ補修要領



中空ボイド上ひびわれ補修詳細図

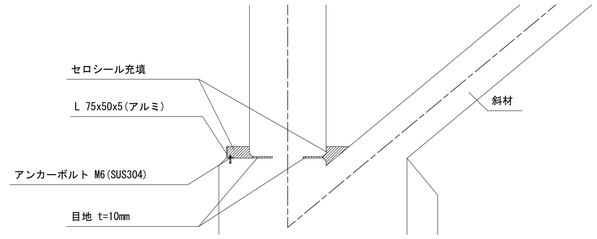


延長数量

ひびわれ 長さ(mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	備考
40500	4	162.0	X0.5

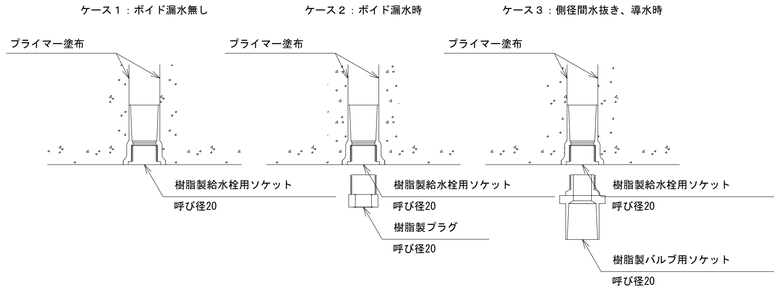
注) コンクリート舗装撤去時に決定する。

メナーゼヒンジ防水工



中央径間側にアングルを設置
斜材側のセロシールは、中央径間側のアングル天端高さまでとする。

ボイド水抜きパイプ参考図



※1 水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること。
※2 パイプ接合部にはシールテープを施工する事。

断面修復工一覧表

番号	損傷の種類	損傷範囲 縦(mm)	×	横(mm)	箇所	面積 (m2)	備考
1	剥離・鉄筋露出	240	×	220	1	0.053	東京側壁高欄内面
2	剥離・鉄筋露出	300	×	220	1	0.066	東京側壁高欄内面
3	剥離・鉄筋露出	300	×	230	1	0.069	東京側壁高欄内面
4	剥離・鉄筋露出	470	×	210	1	0.099	東京側壁高欄内面
5	剥離・鉄筋露出	140	×	160	1	0.023	東京側壁高欄内面
6	剥離・鉄筋露出	490	×	190	1	0.094	東京側壁高欄内面
7	剥離・鉄筋露出	250	×	180	1	0.045	東京側壁高欄内面
8	剥離・鉄筋露出	480	×	200	1	0.096	東京側壁高欄内面
9	剥離・鉄筋露出	500	×	200	1	0.100	東京側壁高欄内面
10	剥離・鉄筋露出	230	×	210	1	0.049	東京側壁高欄内面
11	剥離・鉄筋露出	230	×	190	1	0.044	東京側壁高欄内面
12	剥離・鉄筋露出	190	×	240	1	0.046	東京側壁高欄内面
13	剥離・鉄筋露出	130	×	270	1	0.036	東京側壁高欄内面
14	剥離・鉄筋露出	190	×	220	1	0.042	名古屋側壁高欄内面
15	剥離・鉄筋露出	160	×	720	1	0.116	東京側側面
16	剥離・鉄筋露出	410	×	880	1	0.361	東京側側面
17	剥離・鉄筋露出	200	×	400	1	0.080	東京側側面
18	剥離・鉄筋露出	370	×	260	1	0.097	東京側側面
19	剥離・鉄筋露出	300	×	270	1	0.081	東京側側面
20	剥離・鉄筋露出	180	×	300	1	0.054	東京側側面
21	剥離・鉄筋露出	250	×	210	1	0.053	東京側側面
22	剥離・鉄筋露出	250	×	200	1	0.050	東京側側面
23	剥離・鉄筋露出	290	×	200	1	0.058	東京側側面
24	剥離・鉄筋露出	270	×	210	1	0.057	東京側側面
25	剥離・鉄筋露出	260	×	610	1	0.159	東京側側面
26	剥離・鉄筋露出	340	×	410	1	0.140	東京側側面
27	剥離・鉄筋露出	280	×	940	1	0.264	下面
28	異物混入	220	×	200	1	0.044	下面
29	異物混入	220	×	220	1	0.049	下面
30	異物混入	320	×	310	1	0.100	下面
31	異物混入	110	×	300	1	0.033	下面
32	剥離・鉄筋露出	210	×	480	1	0.101	名古屋側側面
33	剥離・鉄筋露出	240	×	980	1	0.236	名古屋側側面
34	剥離・鉄筋露出	230	×	300	1	0.069	名古屋側側面
35	剥離・鉄筋露出	620	×	400	1	0.248	名古屋側側面
36	剥離・鉄筋露出	520	×	240	1	0.125	名古屋側側面
37	剥離・鉄筋露出	760	×	240	1	0.183	名古屋側側面
38	剥離・鉄筋露出	230	×	260	1	0.060	名古屋側側面
39	剥離・鉄筋露出	240	×	3120	1	0.749	名古屋側側面
40	剥離・鉄筋露出	740	×	470	1	0.348	名古屋側側面
41	剥離・鉄筋露出	240	×	940	1	0.226	名古屋側側面
42	剥離・鉄筋露出	660	×	2360	1	1.558	名古屋側側面
43	剥離・鉄筋露出	330	×	450	1	0.149	名古屋側側面
44	剥離・鉄筋露出	220	×	370	1	0.082	P2橋脚・P1面
45	剥離・鉄筋露出	510	×	850	1	0.434	P2橋脚・P1面
46	剥離・鉄筋露出	190	×	650	1	0.124	P2橋脚・P1面
47	剥離・鉄筋露出	240	×	320	1	0.077	P2橋脚・P1面
48	剥離・鉄筋露出	240	×	310	1	0.075	P2橋脚・P1面
合計						7.502	

ひびわれ注入工一覧表

番号	ひびわれ 幅(mm)	×	長さ(mm)	箇所	ひびわれ (m)	備考	
L1	0.300	×	250	1	0.25	東京側側面	a
L2	0.200	×	570	1	0.57	東京側側面	a
L3	0.300	×	430	1	0.43	東京側側面	b
L4	0.200	×	780	1	0.78	下面	c
L5	0.200	×	300	1	0.30	下面	c
L6	0.200	×	750	1	0.75	下面	c
L7	0.200	×	1610	1	1.61	下面	c
L8	0.200	×	1020	1	1.02	下面	c
L9	0.300	×	1020	1	1.02	下面	c
L10	0.200	×	1040	1	1.04	下面	c
L11	0.200	×	550	1	0.55	下面	c
L12	0.200	×	300	1	0.30	下面	c
L13	0.200	×	850	1	0.85	下面	d
L14	0.200	×	720	1	0.72	下面	d
L15	0.200	×	510	1	0.51	下面	d
L16	0.200	×	1140	1	1.14	下面	e
L17	0.200	×	370	1	0.37	名古屋側側面	f
L18	0.300	×	330	1	0.33	名古屋側側面	g
L19	0.200	×	720	1	0.72	名古屋側側面	h
合計					13.26		

注) 1.画像判定のため設計数量が変わる可能性があるので
現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

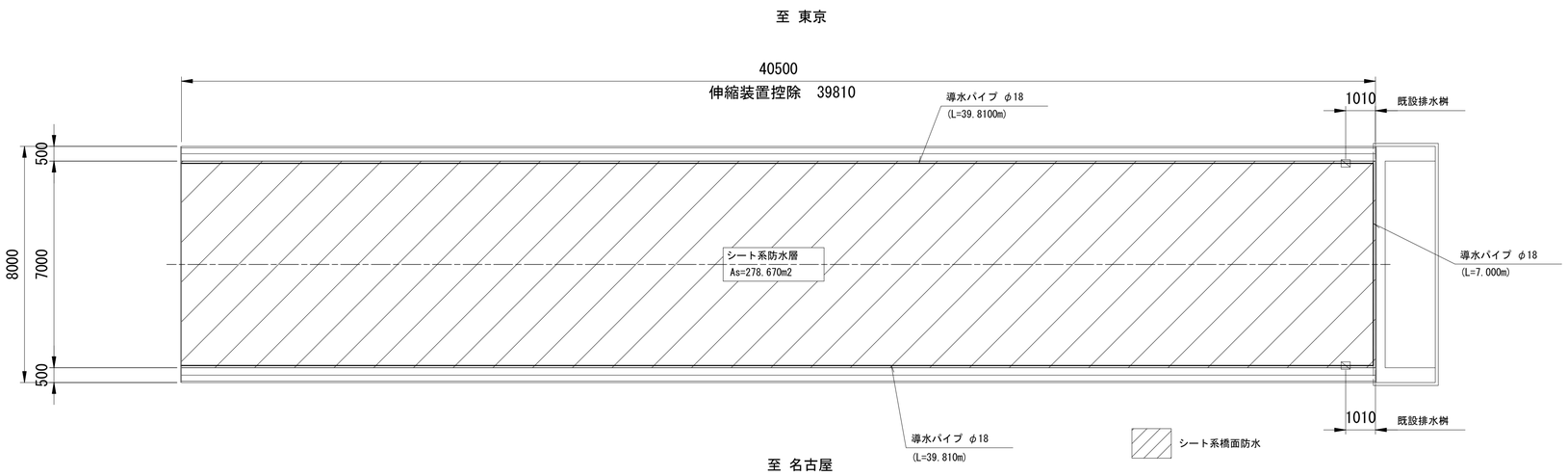
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 補修図(その5)		
縮　　尺	-	図面番号	3/6
設　計　者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発　注　者	箕　　輪　　町		

大原橋 橋面防水詳細図

S=1:100

平 面 図

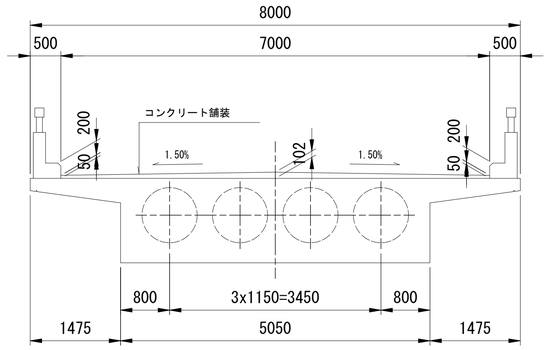
S=1:100



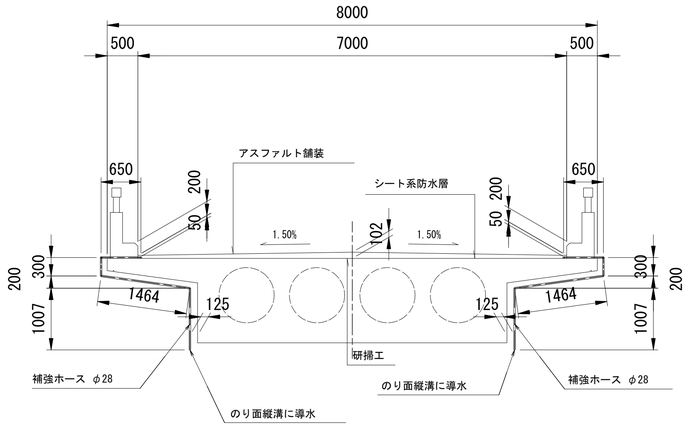
断 面 図

S=1:50

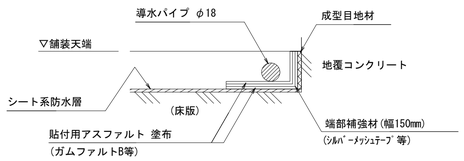
現況図

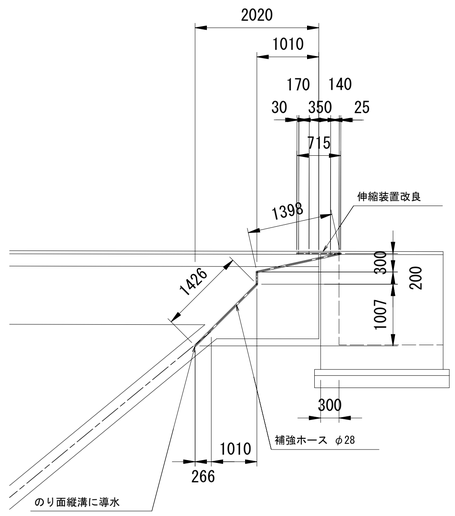


補修図



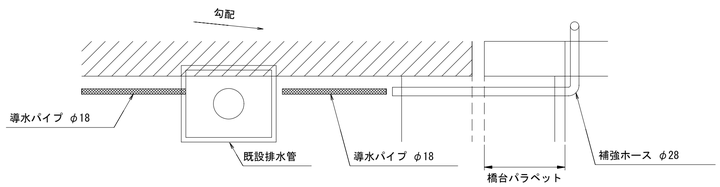
端部処理構造図



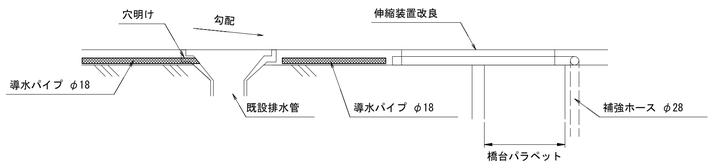


排水桝詳細図

平面図



断面図



橋面防水材料表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
橋面防水	シート系防水層	m2	283.5	
導水パイプ ステンレス製	φ18	m	88.0	
成型目地材	幅30mm	m	95.0	
端部補強材	幅150mm	m	95.0	
補強ホース	φ28 (内径φ18)	本	2	

舗装打ち換え工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
撤去工	コンクリート舗装	m3	21.5	t=70mm
復旧工	アスファルト舗装	m2	283.5	t=70mm

※1)対象橋梁の舗装厚については、70mm(平均)と仮定するが、
施工時に既設の舗装厚を確認し、現状に応じた舗装厚を再検討すること。

※2)舗装については、土工部との摺付けを行うこと。

※3)コンクリート舗装の撤去については、交差する中央道への破片の
落下の恐れがあるため、ブレーカーはつりではなく、小片に切断
して撤去を行うこと。

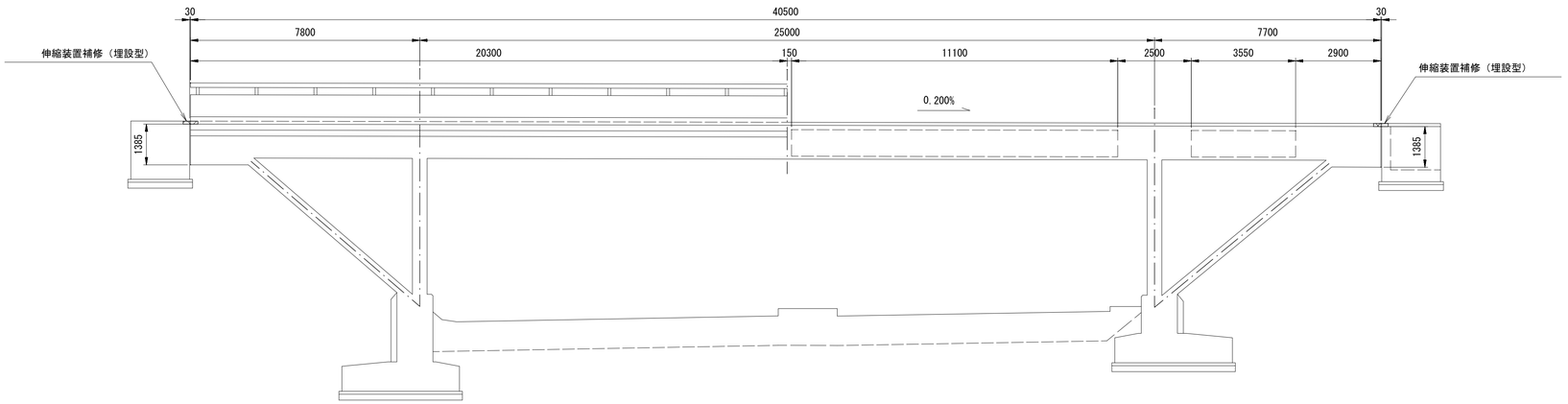
注) 1.施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2.路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 橋面防水詳細図		
縮 尺	1:100	図面番号	4/6
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕 輪 町		

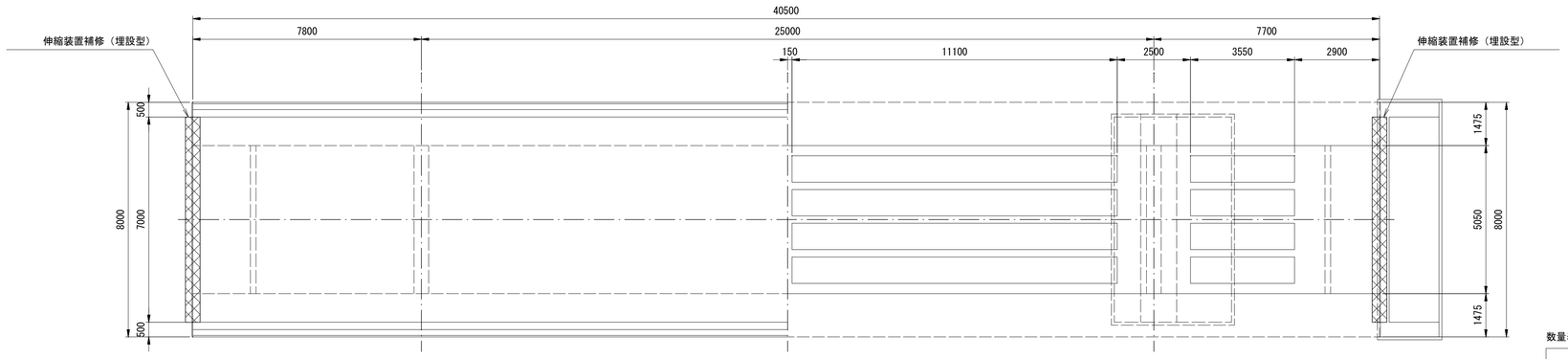
大原橋 伸縮装置詳細図(その1)

S=1:100

側 面 図

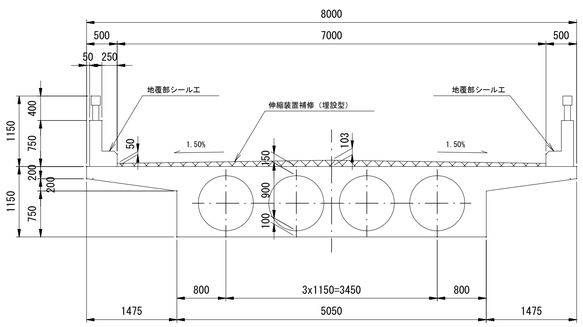


平 面 図

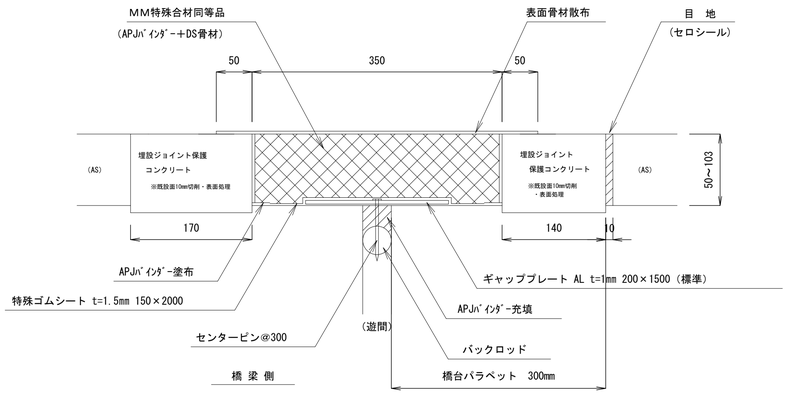


断 面 図

S=1:50



伸縮装置（埋設型）標準断面図



伸縮装置補修工フロー

（標準）

既設アスファルト・既設ジョイント撤去工

↓

既設ジョイント撤去部断面修復工

↓

埋設ジョイント保護コンクリート工

↓

床版防水工

↓

一般部アスファルト舗装工

↓

伸縮装置設置工

↓

後片付け

↓

交通解放

数量表

名　称	規　格	数　量　(m)			備　考
		(A1)	(A2)	合計	
伸縮装置補修工	埋設型 MMJ.DS同等品 (舗装厚内型、後付)	7.0	7.0	14.0	W350×H76.5（50～103）mm

＊1.地覆部はシリコン系シール材とする。
＊2.施工基面のレベル調整（10mm程度）以外は別途断面修復工を実施すること。

使用主要材料数量表（10m当り参考値）

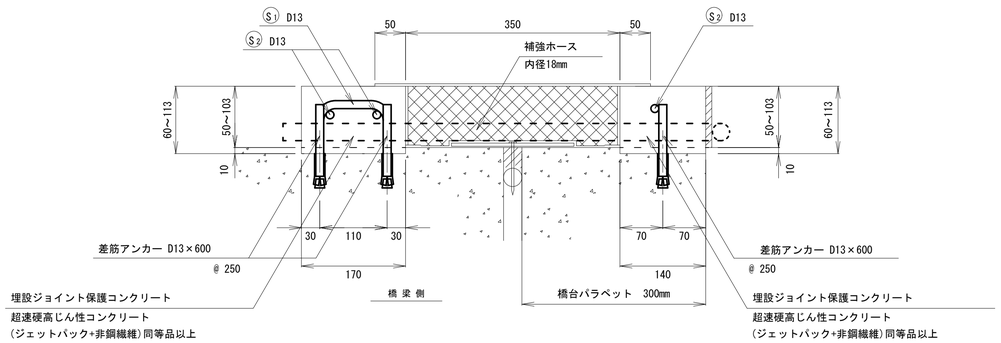
名　称	規　格	数 量 (kg)	備　考
バインダー	APJ150ﾊﾞｲﾝﾀﾞｰ	126.4	W350×H76.5
骨材	DS骨材	505.5	W350×H76.5

＊1.施工に際しては、現地調査・実測確認のうえ実施すること。
＊2.ジョイント合材体積は、道路勾配を考慮した既設舗装厚にて決定する。

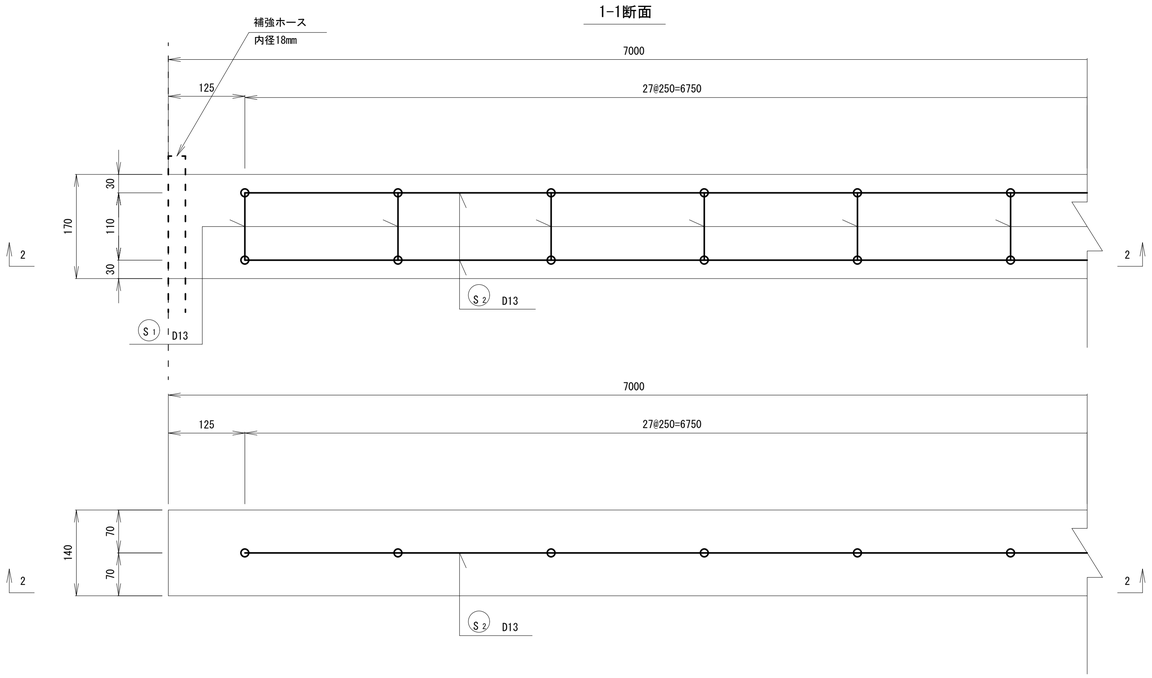
業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 伸縮装置詳細図(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	5/6
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ･ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	筑　輪　町		

大原橋 伸縮装置詳細図(その2)

埋設ジョイント保護コンクリート　詳細図　S=1:5

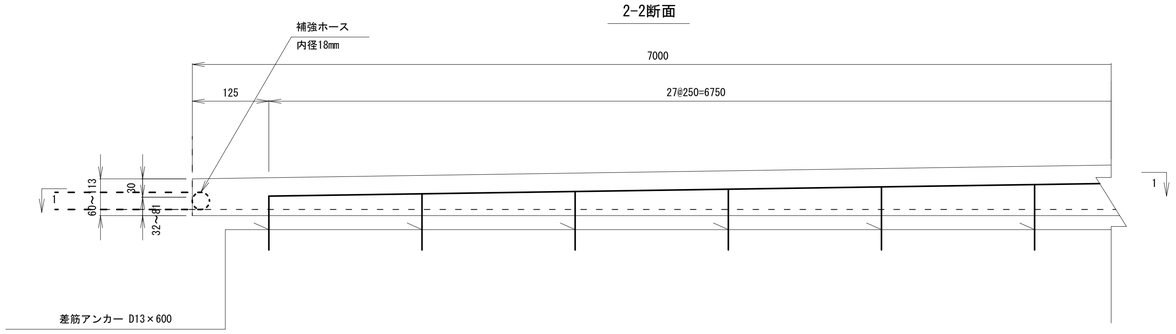


平 面 図　S=1:5



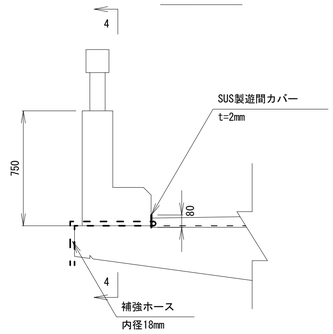
横 断 図　S=1:5

2-2断面

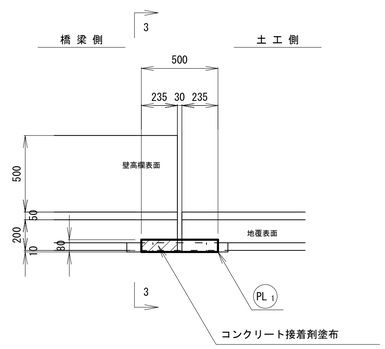


遊間カバー　詳細図　S=1:20

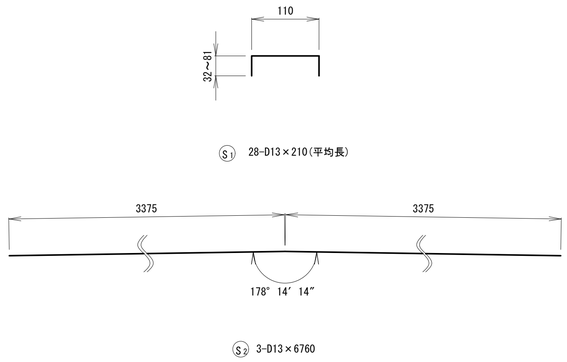
3-3断面



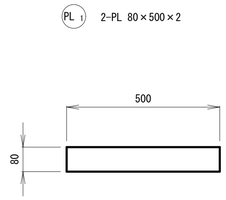
4-4断面



鉄筋加工図



遊間カバー　加工図　S=1:10



差筋アンカー数量表

1ジョイント当り

径	本数(本)
D13	84

鉄 筋 表

1ジョイント当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D13	210	28	0.995	0.209	6	
S2	D13	6760	3	0.995	6.726	20	
合 計					D13	26 kg	
総重量						26 kg	

注）1. 地覆部については地覆高さのステンレス遊間カバーを地覆前面に型枠代わりとして上部工側のみをコンクリート接着剤で既設地覆と接着固定した状態で，埋設ジョイント用特殊合材を施工する。ステンレス遊間カバーは埋設ジョイントに埋め込み，地覆遊間部の止水板として使用する。
2. 縦断勾配下流側の埋設ジョイント地覆前面には，床版排水処理用のスパイラルメッシュφ18mmの排水をパラペット背面から既設のり面縦排水溝で導水する様，補強ホース内径18mmを埋設ジョイント内に前述の排水経路となるように配置すること。
3. 壁高欄表面の伸縮装置遊間部及に厚さ2mmのステンレス遊間カバーを設置すること。
4. 土工側にステンレス遊間カバーを定着出来る部材が無い場合には，別途遊間カバー定着用の部材を設置すること。
5. A2とA1は同構造である。
6. 地覆部施工時には，通信ケーブル等の埋設物がない事を確認すること。
7. 設計図面と現地状況が異なる場合は、協議の上、対応を行うこと。

業務名/工事名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁補修　工事		
路線名・河川名等			
施工箇所名	大原橋		
図面の種類	大原橋 伸縮装置詳細図(その2)		
縮　　尺	図　示	図面番号	6/6
設 計 者	中日本ﾊｲｳｪｲ･ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ名古屋株式会社		
発 注 者	箕　　輪　　町		